

# 第1章 市民アンケート・一般高齢者調査

---

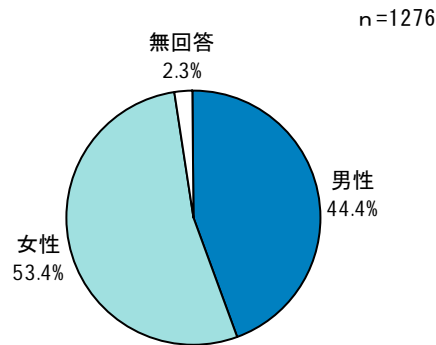
---

# 1. あなたのことについて

## (1) 性別

F 1 あなたの性別は。(1つに○)

「女性」53.4%、「男性」44.4%であり、女性が男性をやや上回る。

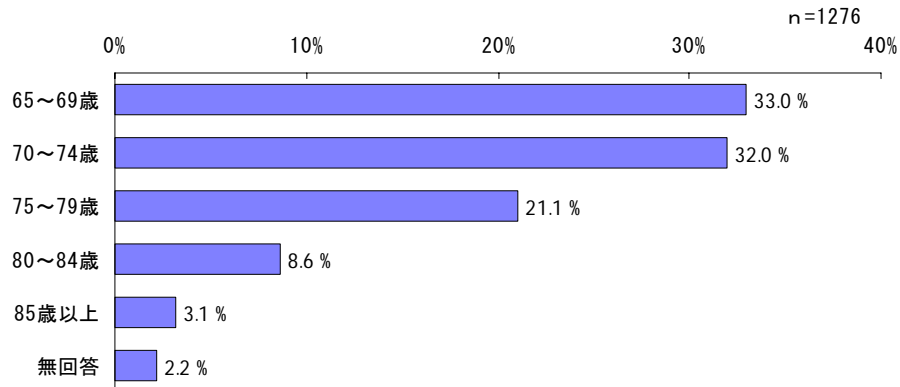


## (2) 年齢

F 2 あなたの年齢は。(1つに○)

「65～69歳」33.0%、「70～74歳」32.0%、「75～79歳」21.1%、「80～84歳」8.6%、「85歳以上」3.1%である。

「65～69歳」及び「70～74歳」の74歳までの高齢者が65.0%、「75～79歳」及び「80～84歳」、「85歳以上」の75歳以上の高齢者が32.8%である。



### [性別]

「70～74歳」及び「75～79歳」では男性が女性をやや上回り、それ以外の年齢層では女性が男性をやや上回る。また、74歳までの高齢者、75歳以上の高齢者の男女差は少ない。

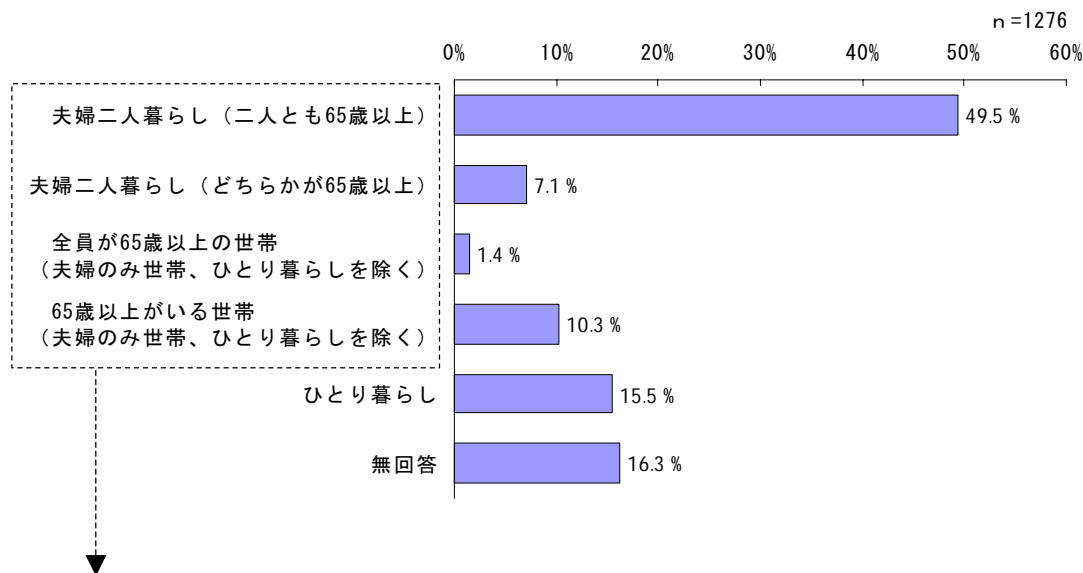
単位：%

	回答者数 (人)	年 齢					無回答	高齢者区分		
		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上		74歳までの 高齢者	75歳以上の 高齢者	
全 体	1276	33.0	32.0	21.1	8.6	3.1	2.2	65.0	32.8	
性 別	男 性	566	32.7	34.6	22.3	7.8	2.7	0.0	67.3	32.7
	女 性	681	34.5	31.1	20.4	9.7	3.7	0.6	65.6	33.8

### (3) 同居家族

#### F 3 あなたが同居しているご家族は。(1つに○)

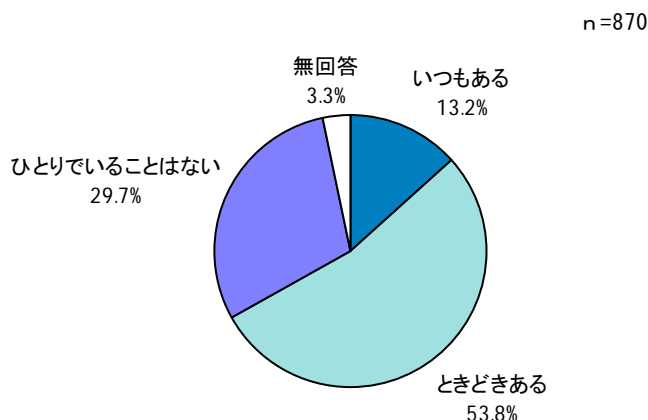
同居の家族は「夫婦二人暮らし（二人とも65歳以上）」が49.5%、半数である。以下「ひとり暮らし」15.5%、「65歳以上がいる世帯（夫婦のみ世帯、ひとり暮らしを除く）」10.3%、「夫婦二人暮らし（どちらかが65歳以上）」7.1%、「全員が65歳以上の世帯（夫婦のみ世帯、ひとり暮らしを除く）」1.4%である。



### (4) 日中独居

#### F 3-1 あなたは、昼間、お住まいでひとりであることがありますか。(1つに○)

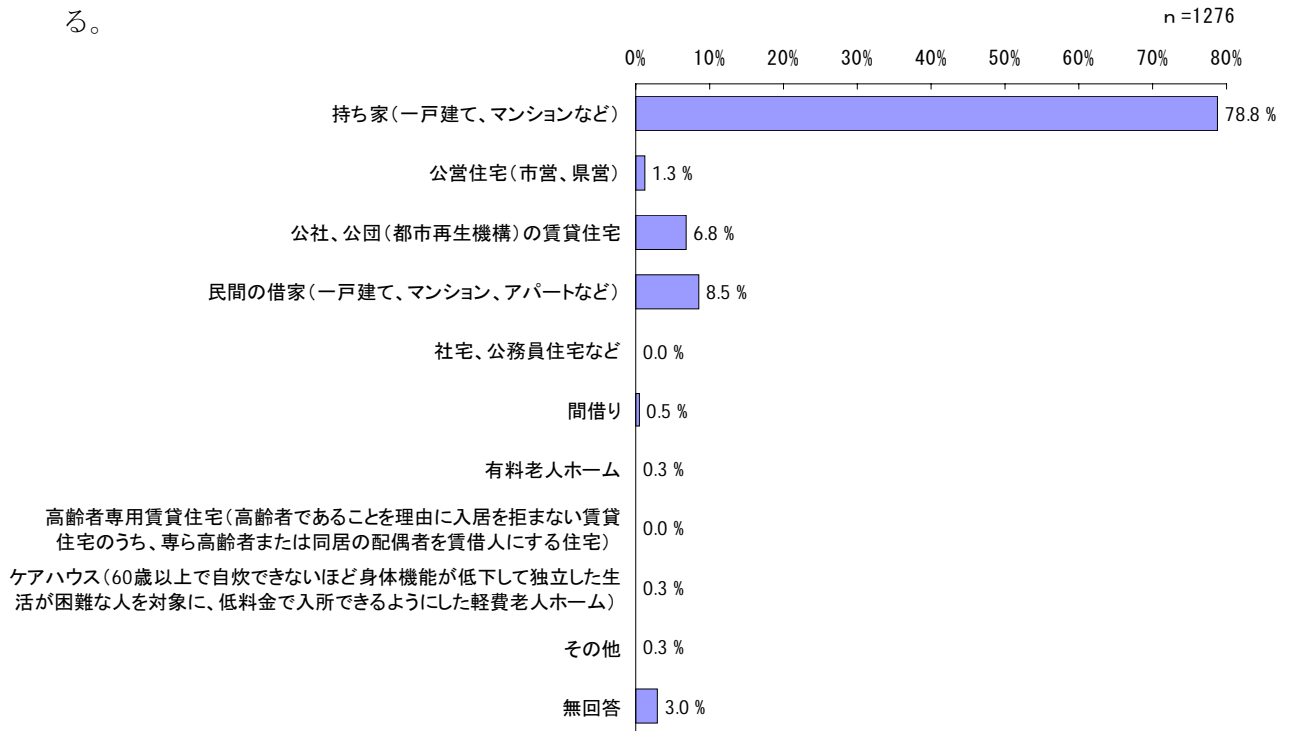
昼間、ひとりであることが「ときどきある」53.8%、「ひとりであることはない」29.7%、「いつもある」13.2%である。



(5) 住まい

F 4 お住まいは次のどれですか。(1つに○)

「持ち家(一戸建て、マンションなど)」が78.8%、8割である。以下「民間の借家(一戸建て、マンション、アパートなど)」8.5%、「公社、公団(都市再生機構)の賃貸住宅」6.8%などである。

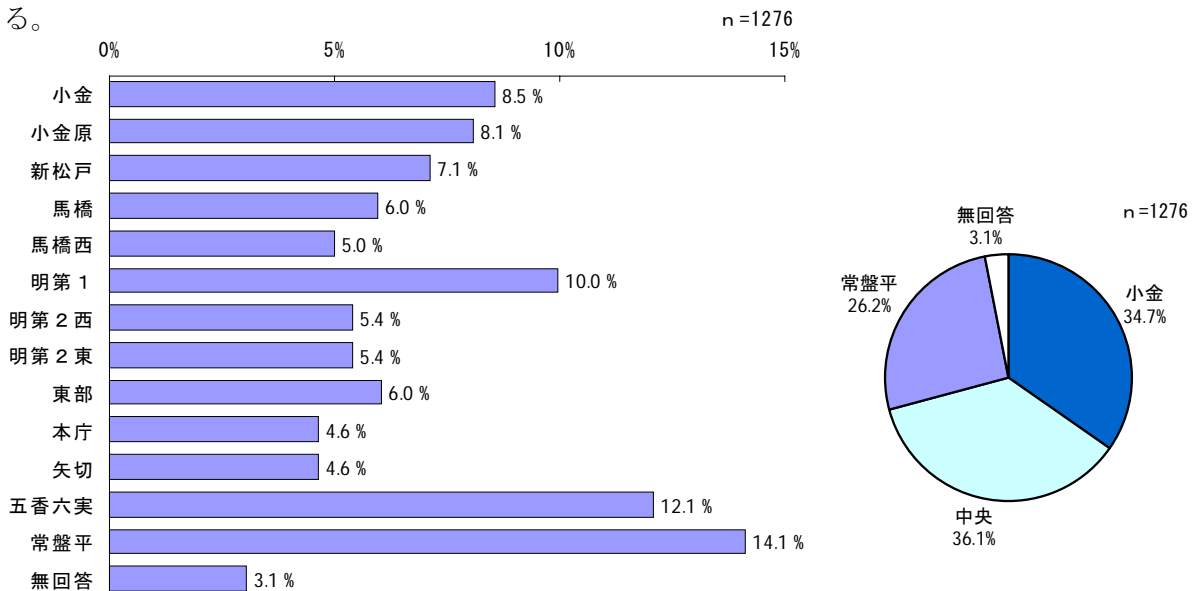


(6) 居住地区

F 5 あなたの住所はどちらですか。(1つに○)

13の日常生活圏域で多いのが「常盤平」の14.1%、「五香六実」の12.1%、「明第1」の10.0%である。以下「小金」8.5%、「小金原」8.1%、「新松戸」7.1%などである。

また、地域包括支援センター管轄では「中央」36.1%、「小金」34.7%、「常盤平」26.2%である。



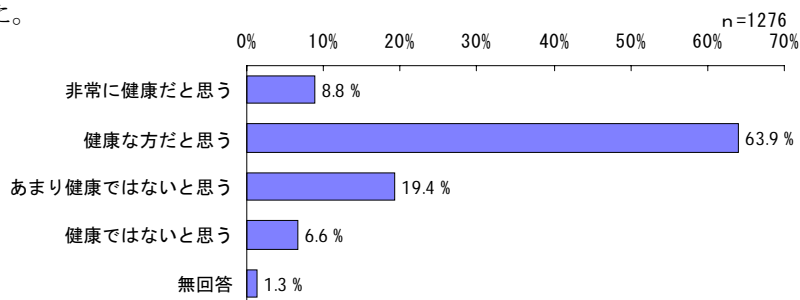
## 2. 健康や日常の生活状況等について

### (1) 現在の健康状態

問1 現在のあなたの健康状態をお聞かせください。(1つに○)

健康状態について「非常に健康だと思う」8.8%、「健康な方だと思う」63.9%、合わせた『健康』は72.7%、7割以上が健康であるとしている。「あまり健康ではないと思う」19.4%、「健康ではないと思う」6.6%である。

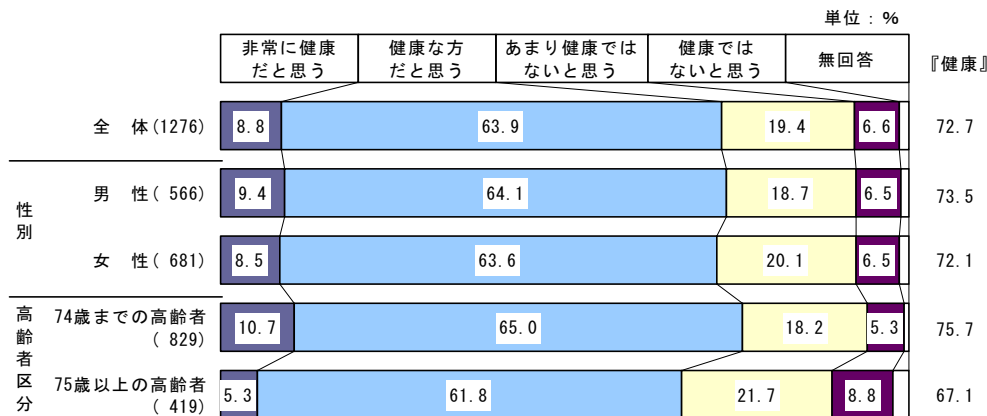
また、「あまり健康ではないと思う」と「健康ではないと思う」とした人にその理由を聞いたが、足腰・リウマチ・神経痛等79件、血圧に関する症状62件、心臓に関する症状33件など大半は疾病があげられた。



#### 【性別・高齢者区分】

性別ではほとんど差はなく、『健康』は男性73.5%、女性72.1%である。

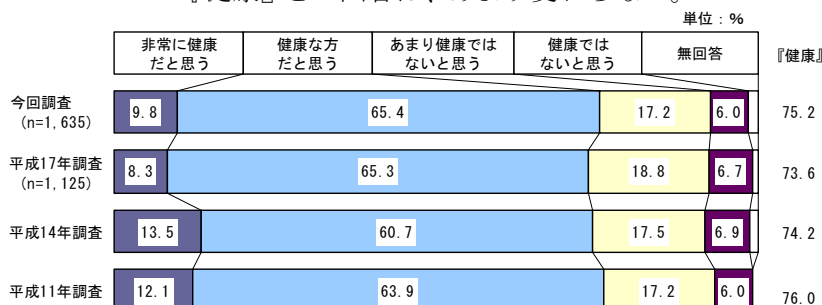
高齢者区分では74歳までの高齢者の『健康』は75.7%と75歳以上の高齢者の67.1%を上回る。



注：5%未満の数値は表記していない ( ) は回答者数

#### 【 経年比較 】

『健康』との回答は、あまり変わらない。



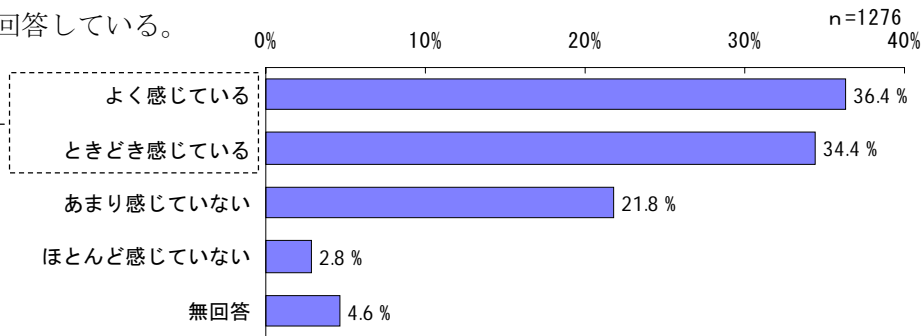
注：5%未満の数値は表記していない ( ) は回答者数

(2) 日常での生きがい

問2 日常生活を送る中で「こころのハリ」や「生きがい」を感じていますか。  
(1つに○)

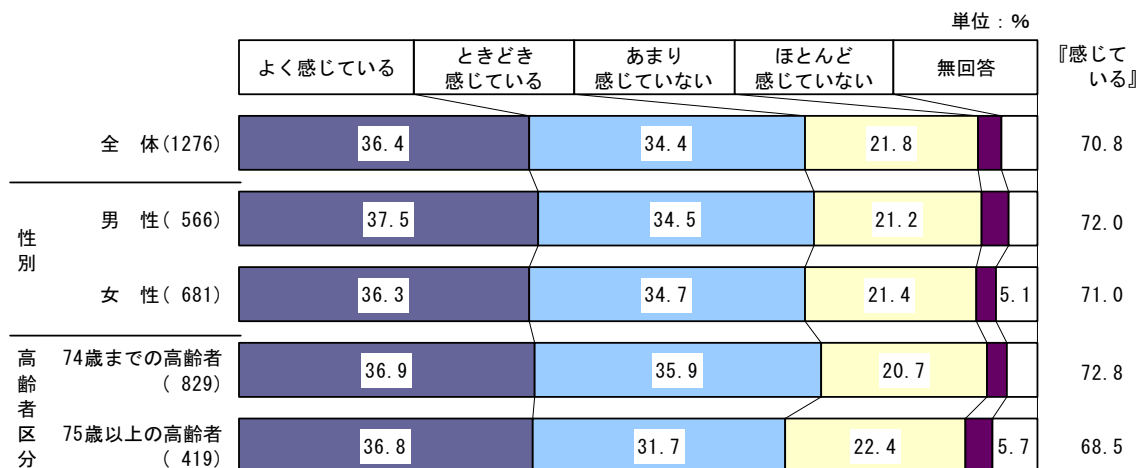
日常生活を送る中でこころのハリや生きがいについて、「よく感じている」36.4%、「ときどき感じている」34.4%、「あまり感じていない」21.8%である。

「よく感じている」と「ときどき感じている」を合わせた『感じている』は70.8%、7割の人が回答している。



**【性別・高齢者区分】**

性別・高齢者区分による差はほとんどない。



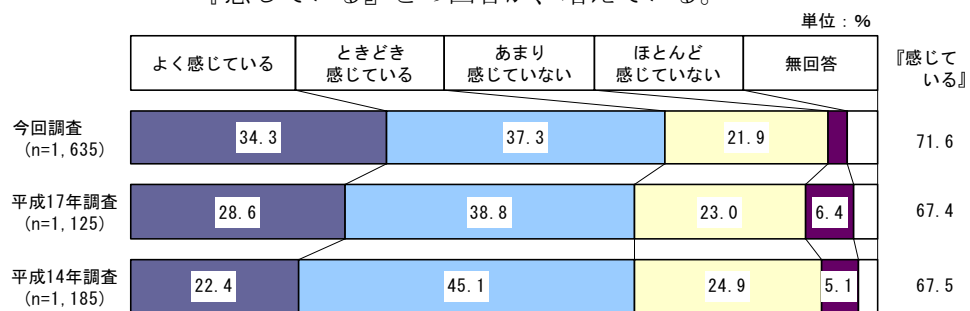
注：5%未満の数値は表記していない ( ) は回答者数

**【ひとり暮らし・日中独居】**

『感じている』はひとり暮らし66.1%、日中いつもひとりでいることの多い人62.6%である。

**【 経年比較 】**

『感じている』との回答が、増えている。

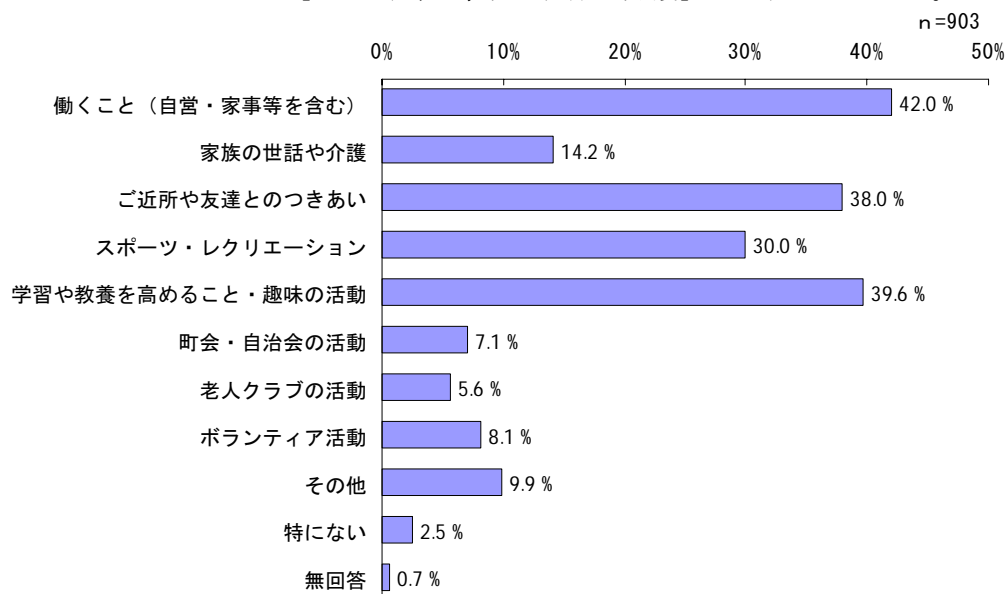


注：5%未満の数値は表記していない ( ) は回答者数

### (3) 生きがいを感じること

問2-1 あなたが、現在こころのハリや生きがいを感じていることは、どんなことですか。(3つまでに○)

こころのハリや生きがいを感じることで最も多いのが、「働くこと(自営・家事等を含む)」42.0%、次いで「学習や教養を高めること・趣味の活動」39.6%、「ご近所や友達とのつきあい」38.0%、「スポーツ・レクリエーション」30.0%、「家族の世話や介護」14.2%などである。



#### [性別・高齢者区分]

男性の1位は「働くこと(自営・家事等を含む)」44.7%に対し、女性の1位は「ご近所や友達とのつきあい」46.0%である。

高齢者区分においての1位は、74歳までの高齢者「働くこと(自営・家事等を含む)」44.4%、75歳以上の高齢者「学習や教養を高めること・趣味の活動」40.4%である。

		回答者数(人)	働くこと(自営・家事等を含む)	家族の世話や介護	ご近所や友達とのつきあい	スポーツ・レクリエーション	学習や教養を高めること・趣味の活動	町会・自治会の活動	老人クラブの活動	ボランティア活動	その他	特になし	無回答
全体		903	① 42.0	14.2	③ 38.0	30.0	② 39.6	7.1	5.6	8.1	9.9	2.5	0.7
性別	男性	407	① 44.7	9.6	29.0	③ 36.6	② 37.8	10.1	5.4	9.8	11.5	3.7	0.5
	女性	483	③ 39.5	18.0	① 46.0	24.6	② 41.0	4.8	6.0	6.6	8.5	1.2	0.8
高齢者区分	74歳までの高齢者	604	① 44.4	14.6	③ 37.9	34.1	② 38.9	7.5	4.8	9.3	10.6	1.8	0.7
	75歳以上の高齢者	287	③ 36.6	13.2	② 38.7	21.3	① 40.4	6.6	7.7	5.6	8.4	3.8	0.7

※丸数字は順位

#### [ひとり暮らし・日中独居]

ひとり暮らしは「家族の世話や介護」が少ないこともあり、「学習や教養を高めること・趣味の活動」49.6%や「ご近所や友達とのつきあい」45.8%がやや多い。

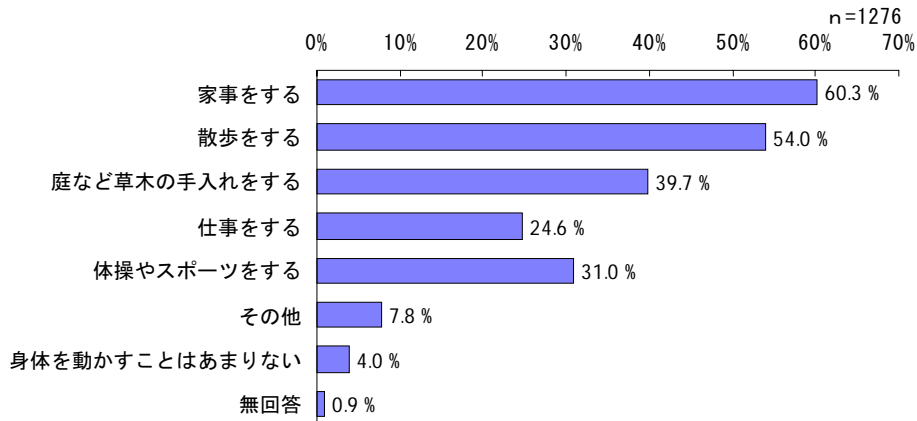
		回答者数(人)	働くこと(自営・家事等を含む)	家族の世話や介護	ご近所や友達とのつきあい	スポーツ・レクリエーション	学習や教養を高めること・趣味の活動	町会・自治会の活動	老人クラブの活動	ボランティア活動	その他	特になし	無回答
全体		903	① 42.0	14.2	③ 38.0	30.0	② 39.6	7.1	5.6	8.1	9.9	2.5	0.7
家族同居	ひとり暮らし	131	③ 32.1	4.6	② 45.8	28.2	① 49.6	7.6	6.9	4.6	13.7	2.3	0.8
独居中	いつもある	72	③ 30.6	15.3	② 37.5	29.2	① 40.3	4.2	2.8	11.1	9.7	1.4	1.4

※丸数字は順位

(4) 日常で身体を動かすこと

問3 日ごろから身体を動かすことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

「家事をする」が60.3%、次いで「散歩をする」54.0%、「庭など草木の手入れをする」39.7%、「体操やスポーツをする」31.0%、「仕事をする」24.6%であり、「身体を動かすことはあまりない」は4.0%にとどまる。



【高齢者区分】

74歳までの高齢者、75歳以上の高齢者とも最も多いのは「家事をする」で各59.6%、61.3%である。ほとんどの項目で74歳までの高齢者が75歳以上の高齢者を上回るが、「家事をする」「庭など草木の手入れをする」については75歳以上の高齢者が74歳までの高齢者を上回る。

単位：%

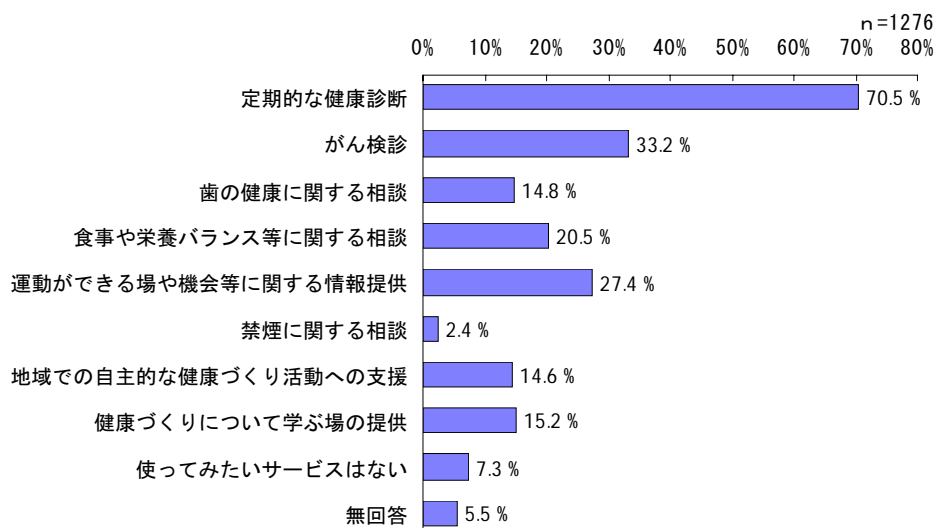
	回答者数 (人)									
		家事をする	散歩をする	庭など 草木の手入 れをする	仕事をする	体操や スポーツを する	その他	身体を動か すことは あまりない	無回答	
全 体	1276	60.3	54.0	39.7	24.6	31.0	7.8	4.0	0.9	
高 齢 者 区 分	74歳までの 高齢者	829	59.6	56.0	37.9	29.3	34.1	8.4	3.4	0.6
	75歳以上の 高齢者	419	61.3	49.9	44.2	15.0	24.3	6.9	4.8	1.4



## (5) 今後使いたいサービス

問4 今後、健康を維持するためにどのようなサービスを使ってみたいと思っ  
ていますか。(3つまでに○)

健康を維持するために使いたいサービスは、「定期的な健康診断」が70.5%、7割の人があげて1位である。次いで「がん検診」33.2%、「運動ができる場や機会等に関する情報提供」27.4%、「食事や栄養バランス等に関する相談」20.5%、「健康づくりについて学ぶ場の提供」15.2%、「歯の健康に関する相談」14.8%、「地域での自主的な健康づくり活動への支援」14.6%などである。



### 【性別・高齢者区分】

男女とも1位は「定期的な健康診断」であり、男性が74.0%、女性が67.8%である。男女でやや差があるのは、「食事や栄養バランス等に関する相談」の女性が23.1%、男性が16.6%である。

74歳までの高齢者、75歳以上の高齢者の1位も「定期的な健康診断」である。74歳までの高齢者と75歳以上の高齢者で大きな差があるのが「運動ができる場や機会等に関する情報提供」であり、各32.4%、17.9%である。

単位：%

		回答者数 (人)	定期的な 健康診断	がん検診	歯の健康に 関する相談	食事や栄養 バランス等 に関する相談	運動ができる 場や機会等 に関する 情報提供
全 体		1276	70.5	33.2	14.8	20.5	27.4
性 別	男 性	566	74.0	35.2	13.6	16.6	29.0
	女 性	681	67.8	32.2	16.0	23.1	26.6
区 分 高 齢 者	74歳までの高齢者	829	73.2	36.2	13.4	19.9	32.4
	75歳以上の高齢者	419	65.6	27.7	17.7	20.8	17.9

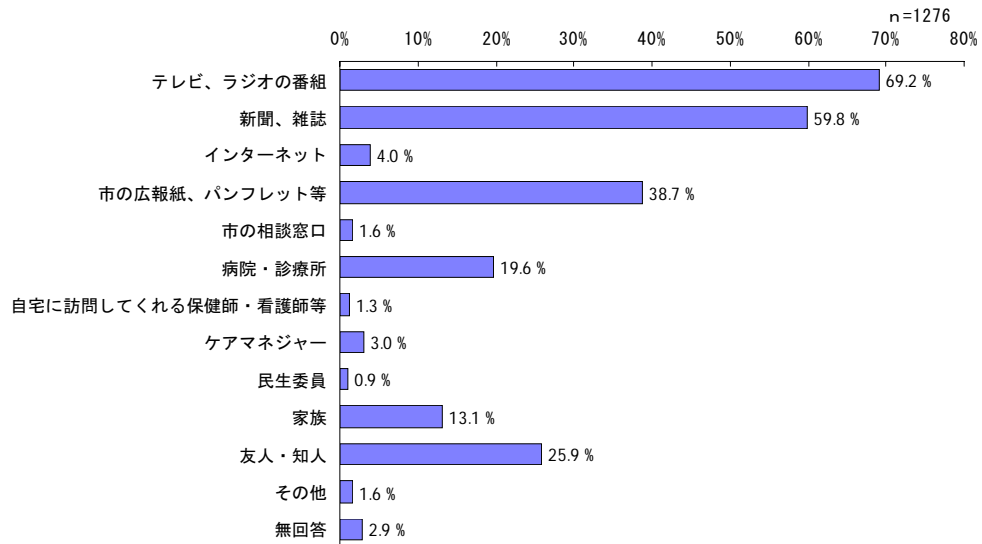
  

		回答者数 (人)	禁煙に 関する相談	地域での 自主的な 健康づくり 活動への支援	健康づくり について学ぶ 場の提供	使ってみたい サービスは ない	無回答
全 体		1276	2.4	14.6	15.2	7.3	5.5
性 別	男 性	566	3.4	16.3	15.4	7.2	3.9
	女 性	681	1.3	13.4	15.1	7.3	6.8
区 分 高 齢 者	74歳までの高齢者	829	2.8	17.1	16.0	6.0	4.2
	75歳以上の高齢者	419	1.2	9.5	13.6	9.8	7.6

(6) 健康等の情報の入手先

問5 健康維持や介護サービスに関する情報はどこから得ていますか。(3つまでに○)

健康や介護サービスに関する情報は、「テレビ、ラジオの番組」69.2%が最も多く、次いで「新聞、雑誌」59.8%、「市の広報紙、パンフレット等」38.7%、「友人・知人」25.9%、「病院・診療所」19.6%、「家族」13.1%などである。「市の相談窓口」はわずか1.6%である。



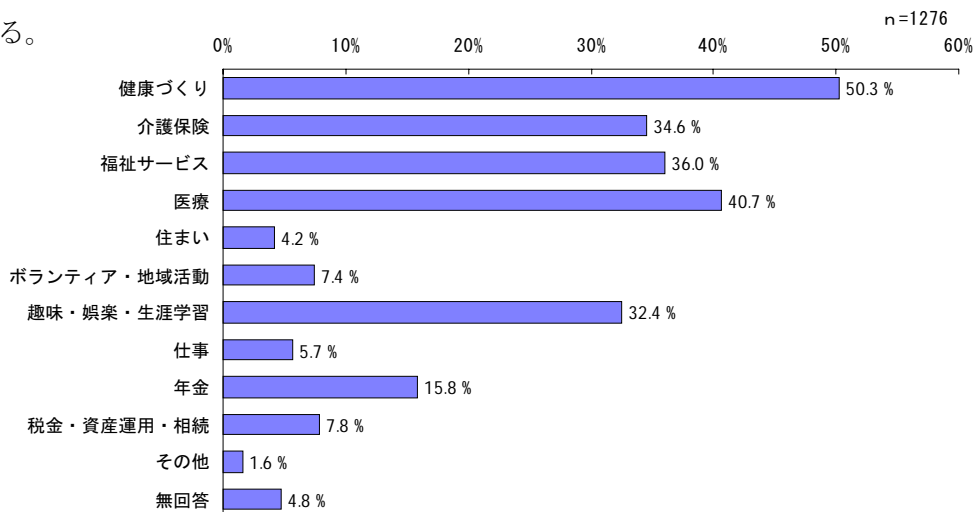
【ひとり暮らし・日中独居】

「テレビ、ラジオの番組」「新聞、雑誌」に次いでひとり暮らしは「友人・知人」37.9%であり、日中ひとりであることの多い人は「市の広報紙、パンフレット等」35.7%「病院・診療所」32.2%である。

(7) 今後、必要とする情報

問5-1 今後どんな情報を必要としていますか。(3つまでに○)

今後、どんな情報を必要とするかは「健康づくり」50.3%、「医療」40.7%、「福祉サービス」36.0%、「介護保険」34.6%、「趣味・娯楽・生涯学習」32.4%、「年金」15.8%などが主なところである。



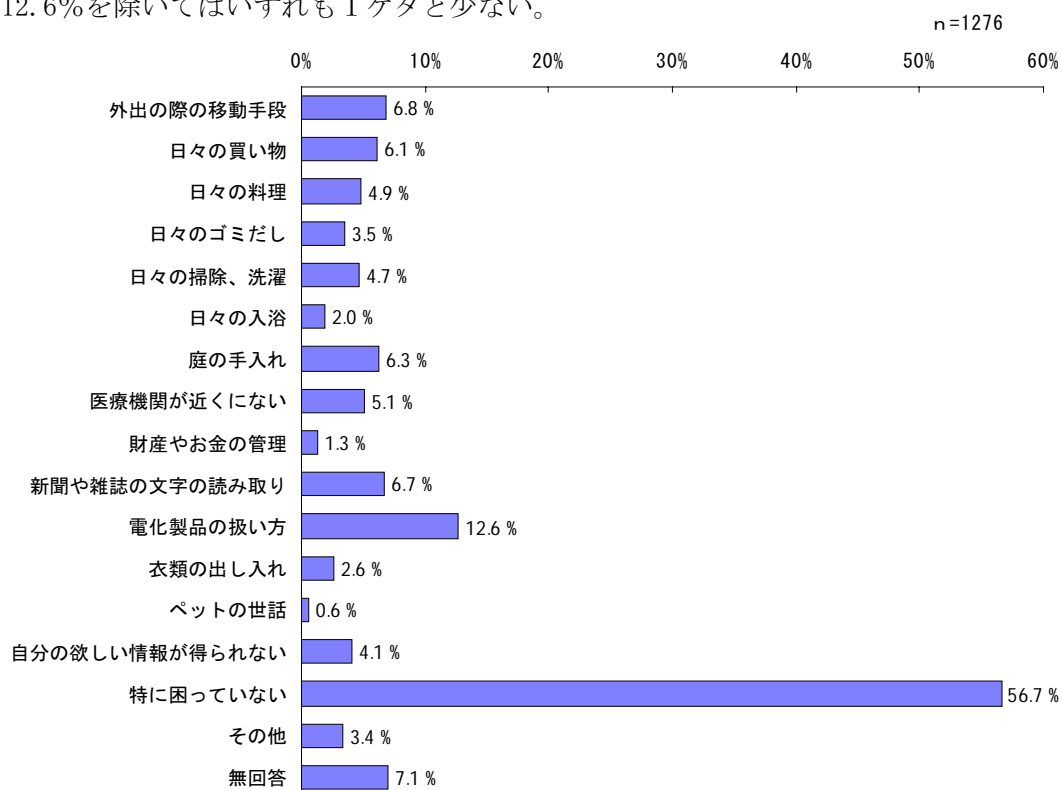
【ひとり暮らし・日中独居】

ひとり暮らしは、「健康づくり」41.9%と「福祉サービス」41.4%がほぼ同程度である。日中ひとりであることの多い人は「ボランティア・地域活動」10.4%がやや多い。

## (8) 日常生活で困っていること

### 問6 日常生活の中で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

日常生活で困っていることについては、「特に困っていない」が56.7%である。「電化製品の扱い方」12.6%を除いてはいずれも1ケタと少ない。

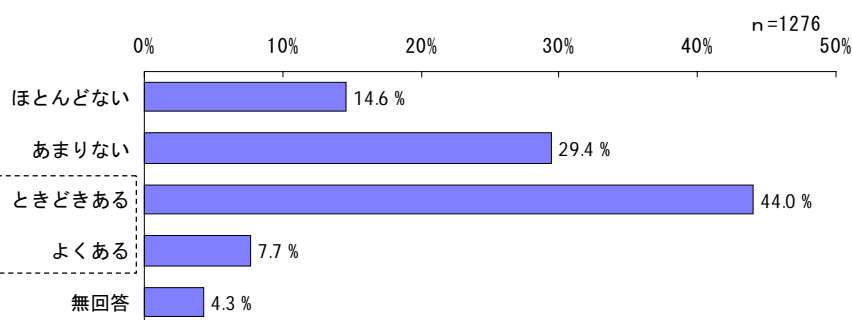


## (9) 生活での不安・心配

### 問7 現在、生活の中で不安になったり、心配になったりすることはありますか。(1つに○)

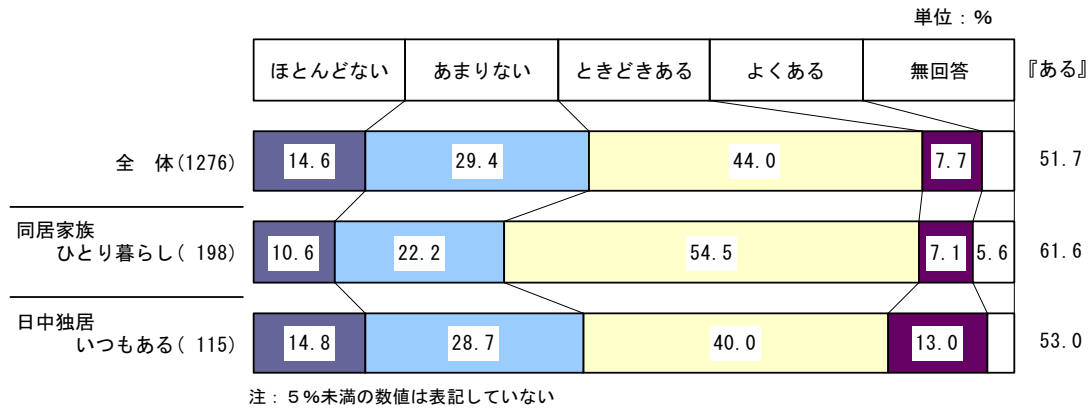
生活の中での不安・心配は、「ときどきある」44.0%、「あまりない」29.4%、「ほとんどない」14.6%、「よくある」7.7%である。

「ときどきある」と「よくある」を合わせた『ある』が51.7%、半数である。



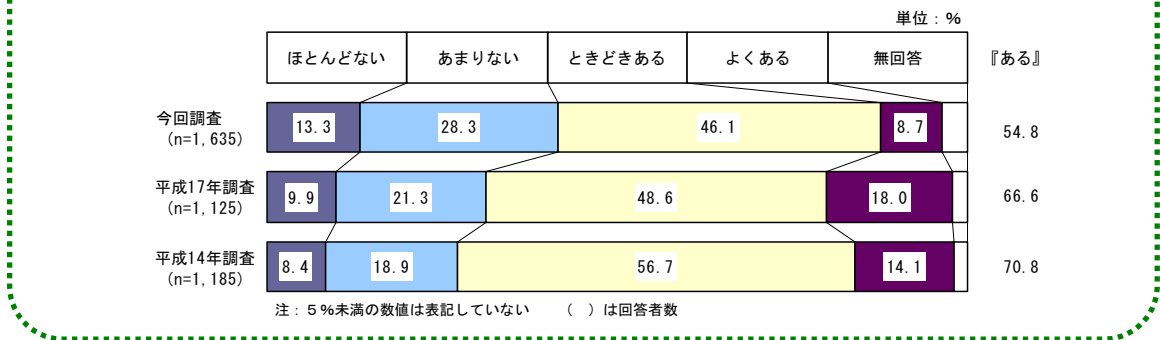
#### 【ひとり暮らし・日中独居】

ひとり暮らしの『ある』は、61.6%、6割を超え、日中ひとりであることの多い人は53.0%である。



【 経年比較 】

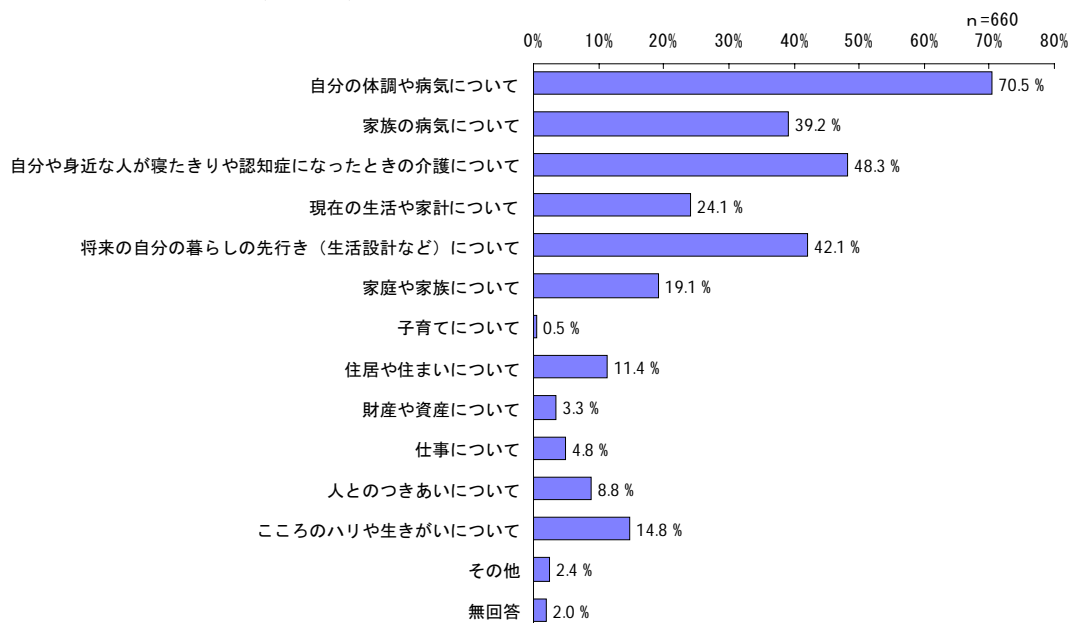
『ある』との回答は、少なくなる傾向にある。



(10) 不安・心配の内容

問7-1 次にあげた項目のうち不安になったり、心配になったりするのとはどんなことですか。(あてはまるものすべてに○)

問7で『ある』と答えた人に、その内容を聞いた。「自分の体調や病気について」が70.5%、「自分や身近な人が寝たきりや認知症になったときの介護について」が48.3%、「将来の自分の暮らしの先行き(生活設計など)について」42.1%、「家族の病気について」39.2%、「現在の生活や家計について」24.1%、「家庭や家族について」19.1%などである。

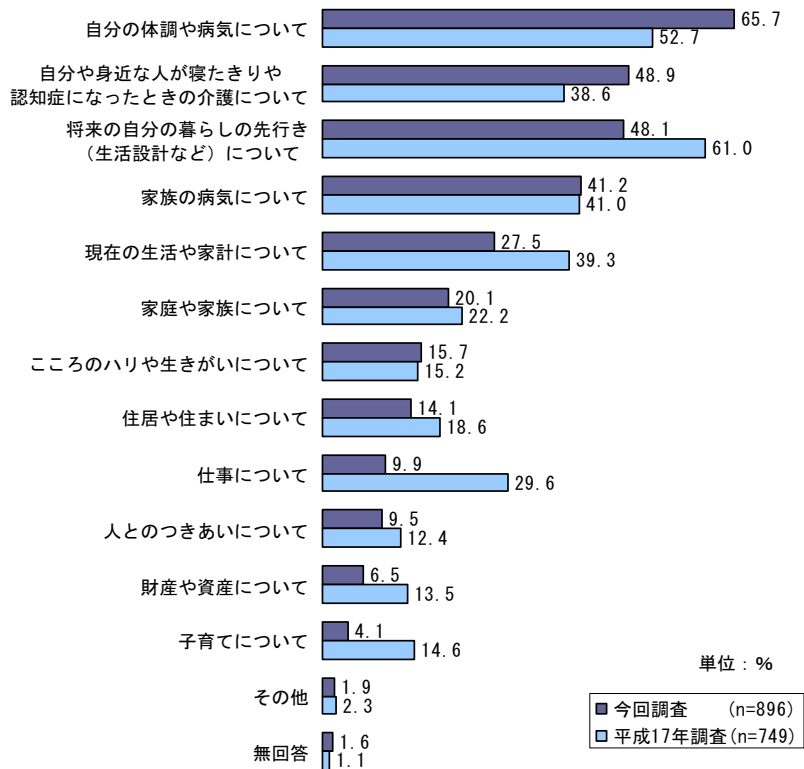


## 【ひとり暮らし・日中独居】

ひとり暮らし及び日中ひとりであることの多い人とも「自分の体調や病気について」が、各76.2%、68.9%と最も多く、次いでひとり暮らしは「将来の自分の暮らしの先行き（生活設計など）について」が、46.7%、日中ひとりであることの多い人は「自分や身近な人が寝たきりや認知症になったときの介護について」55.7%である。

### 【 経年比較 】

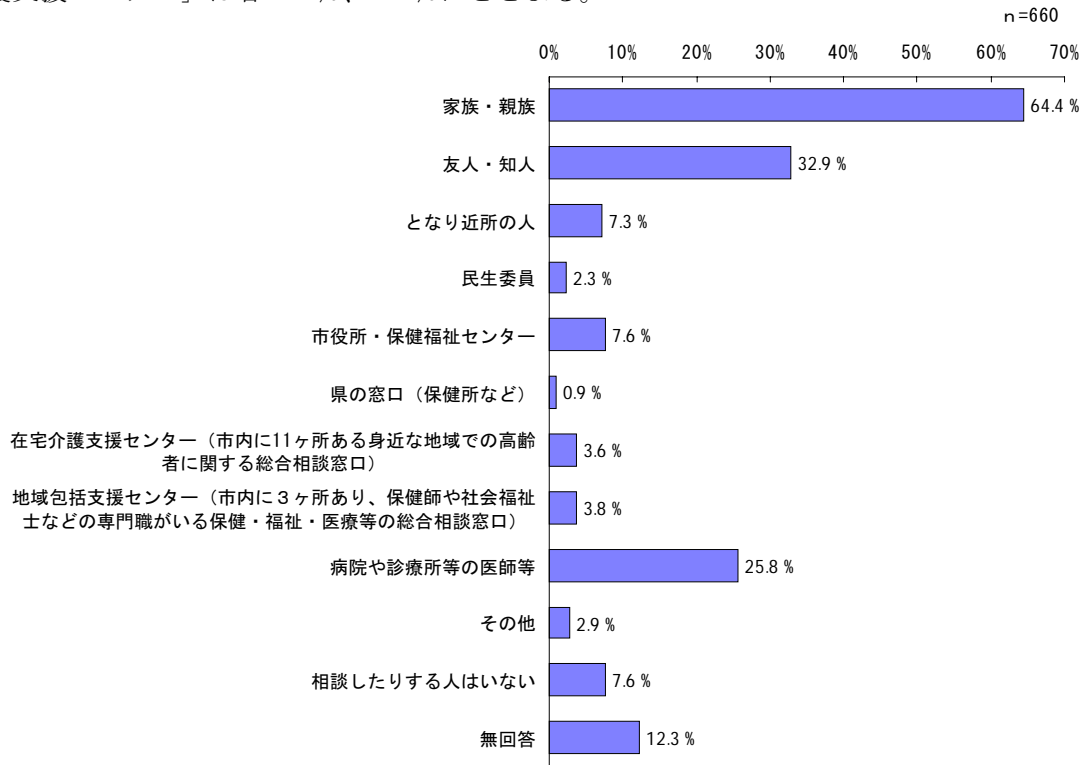
「自分の体調や病気について」や「自分や身近な人が寝たきりや認知症になったときの介護について」が増え、「将来の自分の暮らしの先行き（生活設計など）について」などは減っている。



(11) 不安・心配の相談相手

問7-2 不安になったり、心配になったりしたとき、だれかに話を聞いてもらったり、相談したりしますか。(あてはまるものすべてに○)

問7-1の内容に引き続き、相談相手を聞いた。「家族・親族」が64.4%、「友人・知人」が32.9%、「病院や診療所等の医師等」25.8%などが主なところであり、「地域包括支援センター」、「在宅介護支援センター」は各3.8%、3.6%にとどまる。



【ひとり暮らし・日中独居】

ひとり暮らし及び日中ひとりであることの多い人いずれも「家族・親族」が最も多く、ともに54.1%、次いでひとり暮らしは「友人・知人」、日中ひとりであることの多い人は「病院や診療所等の医師等」とともに37.7%である。

		回答者数 (人)	家族・親族	友人・知人	となり近所の人	民生委員	市役所・保健福祉センター	県の窓口 (保健所など)
全 体		660	64.4	32.9	7.3	2.3	7.6	0.9
家同族居	ひとり暮らし	122	54.1	37.7	7.4	6.6	8.2	1.6
独日居中	いつもある	61	54.1	31.1	6.6	1.6	1.6	0.0

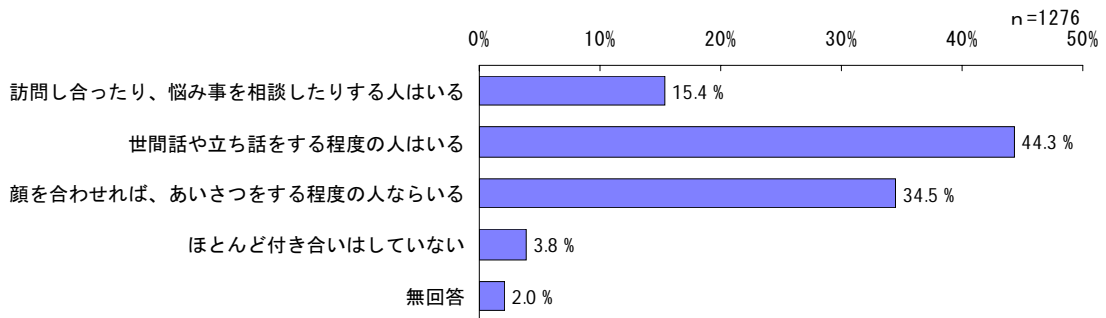
  

		回答者数 (人)	在宅介護支援センター	地域包括支援センター	病院や診療所等の医師等	その他	相談したりする人はいない	無回答
全 体		660	3.6	3.8	25.8	2.9	7.6	12.3
家同族居	ひとり暮らし	122	3.3	3.3	19.7	4.1	12.3	9.8
独日居中	いつもある	61	1.6	3.3	37.7	6.6	8.2	14.8

## (12) 隣近所との付き合い

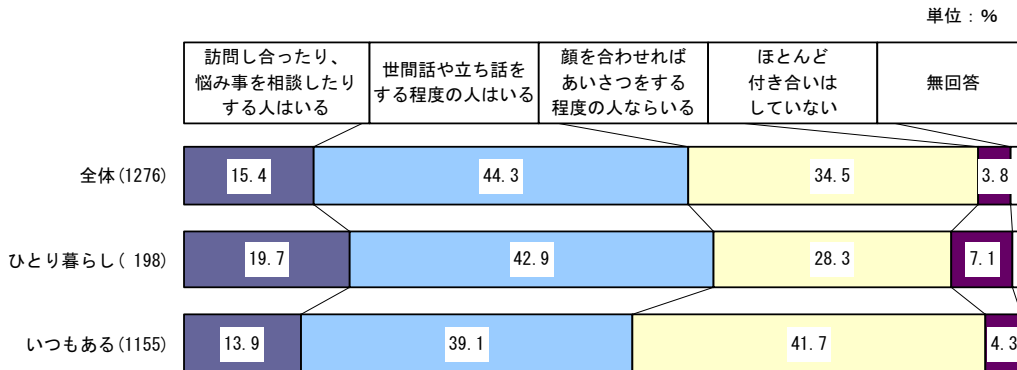
問8 あなたは、日頃、隣近所の方とどの程度の付き合いをしていますか。(1つに○)

「世間話や立ち話をする程度の人はいる」44.3%、「顔を合わせれば、あいさつをする程度の人ならいる」34.5%、「訪問し合ったり、悩み事を相談したりする人はいる」15.4%の順であり、「ほとんど付き合いはしていない」は3.8%である。



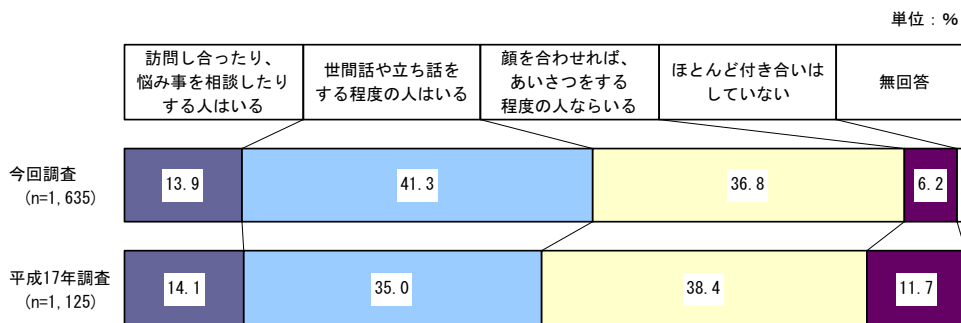
### [ひとり暮らし・日中独居]

ひとり暮らしで最も多いのは「世間話や立ち話をする程度の人はいる」の42.9%、日中ひとりであることの多い人は「ほとんど付き合いはしていない」41.7%である。



### 【 経年比較 】

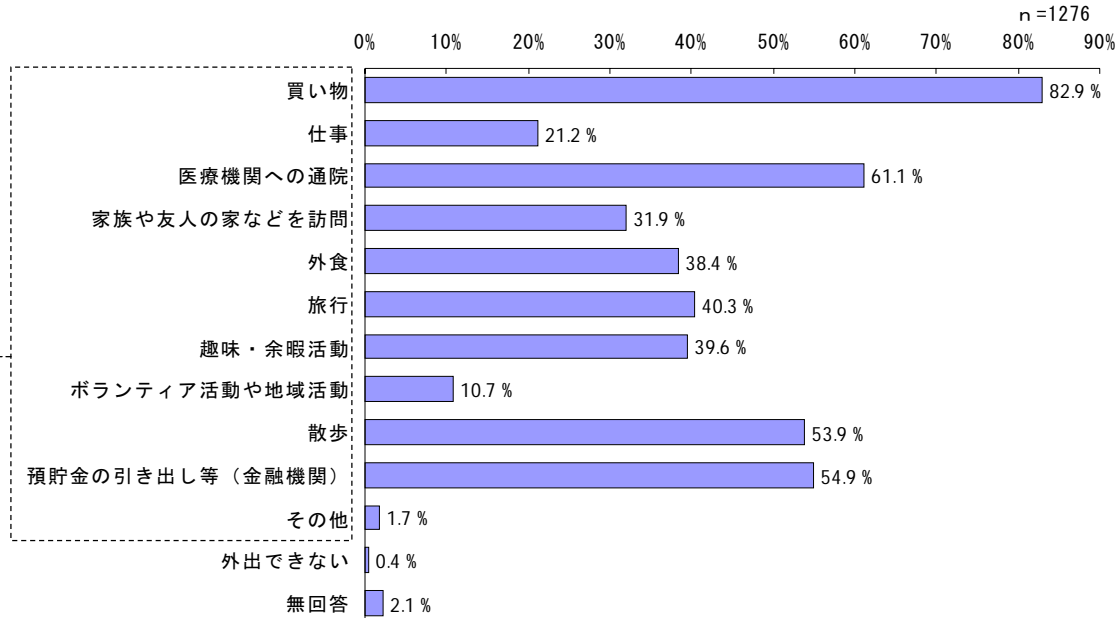
「世間話や立ち話をする程度の人はいる」が増え、「ほとんど付き合いはしていない」は減っている。



(13) 外出の目的

問9 日ごろ、どのような目的で外出していますか。(あてはまるものすべてに○)

外出の目的は、「買い物」82.9%、「医療機関への通院」61.1%、「預貯金の引き出し等（金融機関）」54.9%、「散歩」53.9%、「旅行」40.3%、「趣味・余暇活動」39.6%、「外食」38.4%などであり、「仕事」は21.2%と少ない。



【高齢者区分】

74歳までの高齢者、75歳以上の高齢者とも「買い物」各84.7%、79.7%が最も多い。ほとんどの項目で74歳までの高齢者が75歳以上の高齢者を上回るが、「医療機関への通院」については各56.7%、70.6%と75歳以上の高齢者が上回る。

単位：%

		回答者数 (人)	買い物	仕事	医療機関への通院	家族や友人の家などを訪問	外食	旅行	趣味・余暇活動
全体		1276	82.9	21.2	61.1	31.9	38.4	40.3	39.6
高齢者区分	74歳までの高齢者	829	84.7	26.7	56.7	34.6	43.7	45.0	44.3
	75歳以上の高齢者	419	79.7	10.0	70.6	26.7	29.4	31.3	31.0

		回答者数 (人)	ボランティア活動や地域活動	散歩	預貯金の引き出し等 (金融機関)	その他 (具体的に)	外出できない	無回答
全体		1276	10.7	53.9	54.9	1.7	0.4	2.1
高齢者区分	74歳までの高齢者	829	12.5	56.0	57.2	1.8	0.1	1.9
	75歳以上の高齢者	419	7.4	49.9	51.6	1.4	1.0	2.1

【ひとり暮らし・日中独居】

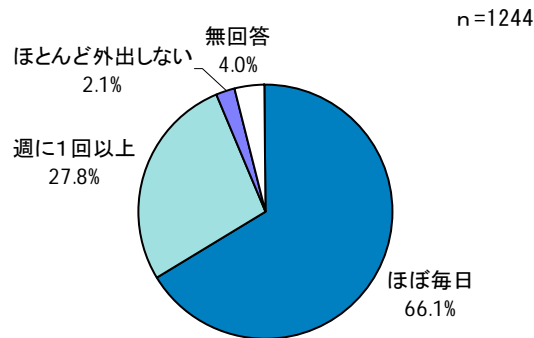
ひとり暮らしは「買い物」94.4%「預貯金の引き出し等（金融機関）」67.2%「医療機関への通院」59.6%などの順である。日中ひとりであることの多い人は、全体結果とほぼ変わらない。



## (14) 外出の頻度

### 問9-1 日ごろ、どの程度外出していますか。(1つに○)

問9で外出している人にどの程度かを聞いたが、「ほぼ毎日」が66.1%、「週に1回以上」が27.8%、「ほとんど外出しない」が2.1%である。



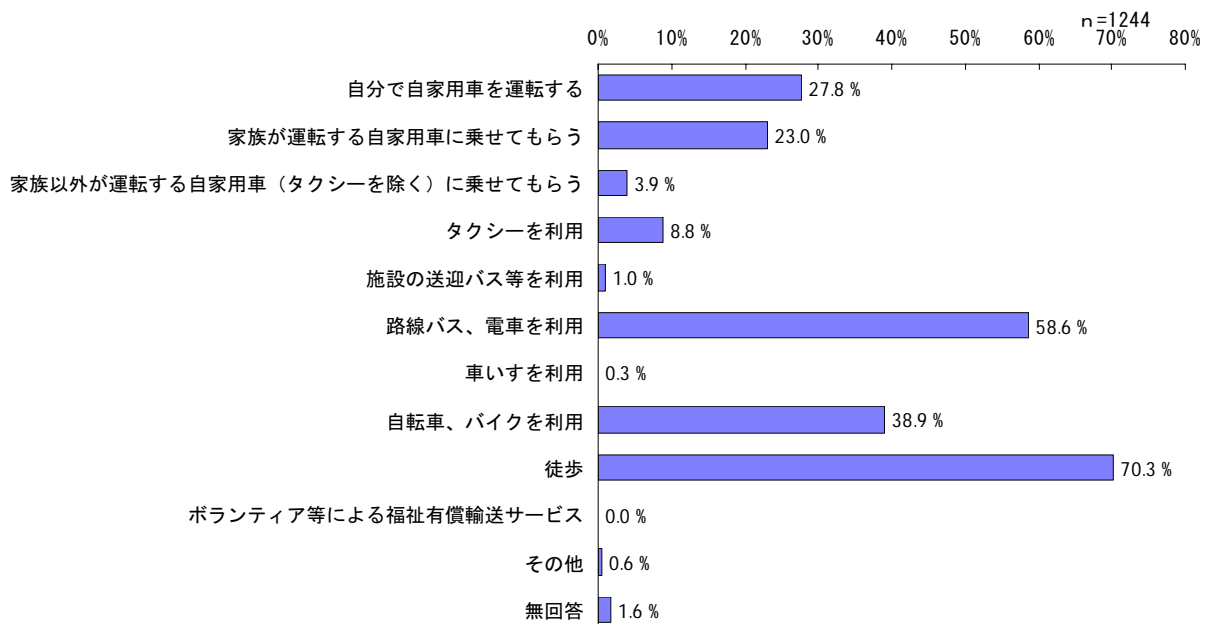
### [ひとり暮らし・日中独居]

「ほぼ毎日」はひとり暮らしが59.3%、日中ひとりであることの多い人が56.3%である。

## (15) 外出の方法

### 問9-2 あなたは日ごろ、どのような方法で外出していますか。(あてはまるものすべてに○)

外出している人に外出の方法を聞いた。「徒歩」が70.3%と最も多く、次いで「路線バス、電車を利用」58.6%、「自転車、バイクを利用」38.9%、「自分で自家用車を運転する」27.8%、「家族が運転する自家用車に乗せてもらう」23.0%が主なものである。



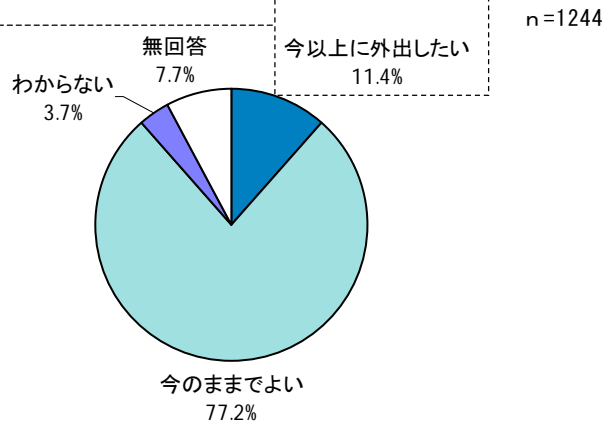
### [ひとり暮らし・日中独居]

ひとり暮らしは「徒歩」74.2%「路線バス、電車を利用」63.4%が多く、「自分で自家用車を運転する」は12.9%と少ない。日中ひとりであることの多い人は、全体結果とほぼ同じである。

(16) 今以上に外出したいか

問9-3 今以上に外出したいですか。(1つに○)

外出している人に、今以上に外出したいかを聞いたものであるが、「今のままでよい」が77.2%、8割近い。「今以上に外出したい」は11.4%、1割強にとどまる。



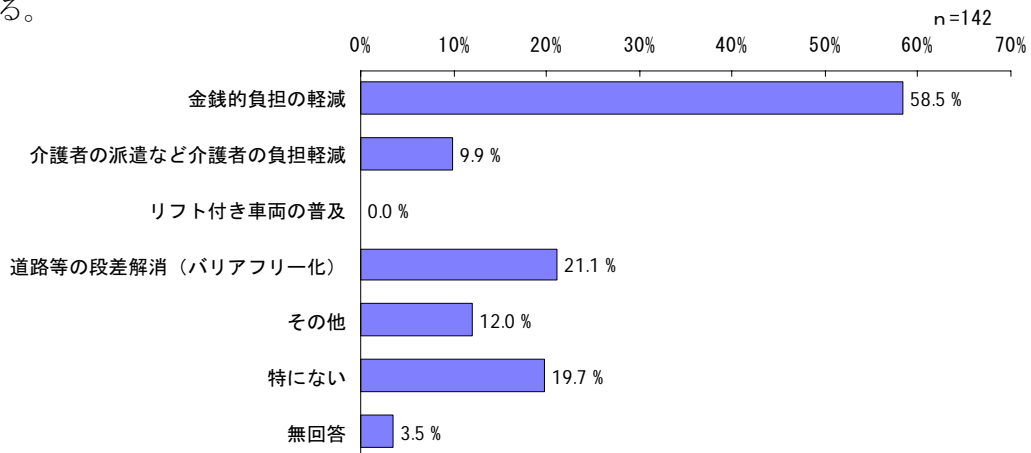
**【ひとり暮らし・日中独居】**

「今以上に外出したい」は、ひとり暮らし14.9%、日中ひとりであることの多い人13.4%である。

(17) 外出のために必要な援助

問9-4 今以上に外出するためには、どのような援助があればよいですか。(あてはまるものすべてに○)

問9-3で今以上に外出したいと答えた人に、必要な援助を聞いた。「金銭的負担の軽減」が58.5%と最も多く、次いで「道路等の段差解消(バリアフリー化)」21.1%、「特にない」19.7%である。



**【ひとり暮らし・日中独居】**

「金銭的負担の軽減」は、ひとり暮らし62.1%、日中ひとりであることの多い人46.7%である。

### 3. 暮らし向きや各種活動への参加について

#### (1) ゆとり

問10 あなたは、自分自身のふだんの生活の中でどの程度ゆとりがあると感じていますか。時間的なゆとりと経済的なゆとりにわけてお答えください。(それぞれあてはまる番号1つに○)

##### ①時間的なゆとり

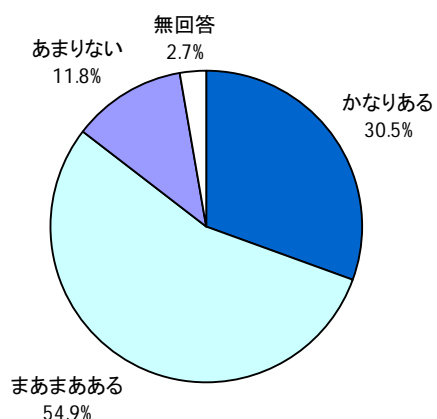
時間的なゆとりは、「まあまあある」が54.9%、「かなりある」30.5%、「あまりない」11.8%である。

##### ②経済的なゆとり

経済的なゆとりは「まあまあある」の49.5%、「あまりない」の41.3%、「かなりある」は4.5%と少ない。

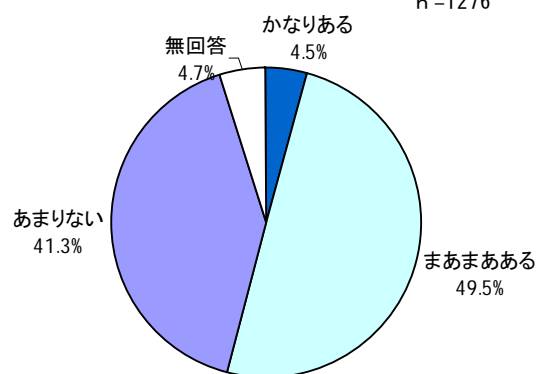
【時間的なゆとり】

n=1276



【経済的なゆとり】

n=1276



#### 【 経年比較 】

時間的、経済的なゆとりとも「かなりある」「まあまあある」がともに多くなっている。

【時間的なゆとり】

【経済的なゆとり】

単位：%

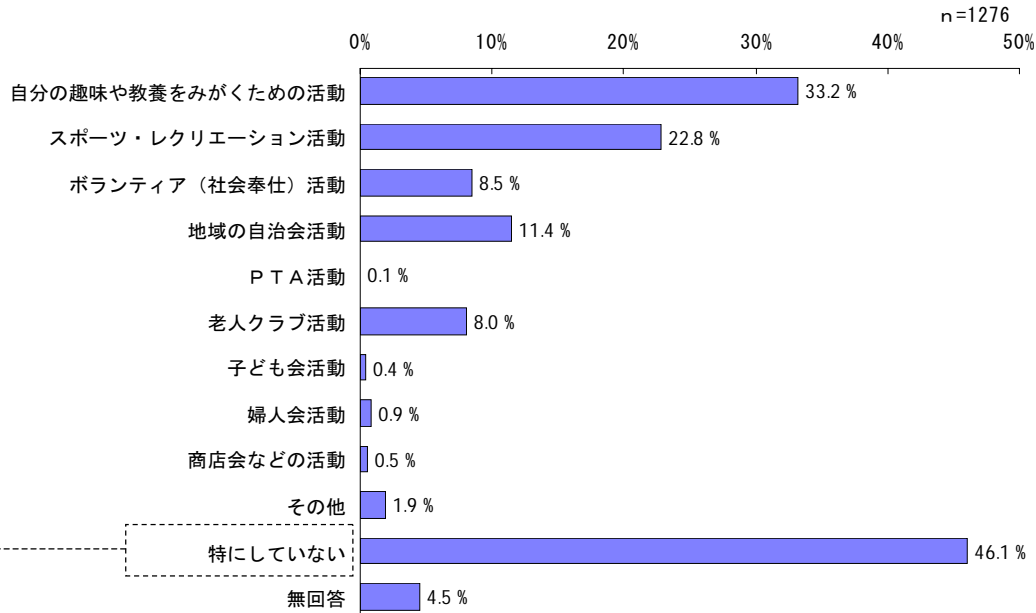
	【時間的なゆとり】				【経済的なゆとり】			
	かなりある	まあまあある	あまりない	無回答	かなりある	まあまあある	あまりない	無回答
今回調査 (n=1,635)	27.2	54.1	16.2		49.3	42.4		
平成17年調査 (n=1,125)	15.1	47.5	36.3		40.4	55.2		
平成14年調査	14.9	49.1	34.1		41.3	54.6		
平成11年調査	12.6	46.3	39.1		39.3	55.8		

注：5%未満の数値は表記していない ( ) は回答者数

(2) 現在、参加している活動

問11 あなたは、現在、以下のような活動に参加していますか。(3つまでに○)

「特にしていない」46.1%が最も多い。「自分の趣味や教養をみがくための活動」33.2%、「スポーツ・レクリエーション活動」22.8%、「地域の自治会活動」11.4%、「ボランティア(社会奉仕)活動」8.5%、「老人クラブ活動」8.0%が主なところである。



[居住地区]

13地区のうち「特にしていない」が最も多い地区は10地区であり、中でも明第2東地区は60.9%と他地区を大きく上回り、常盤平の53.3%とともに半数を超える。

小金原、新松戸、本庁地区は「自分の趣味や教養をみがくための活動」が「特にしていない」を上回る。

単位：%

	回答者数(人)	自分の趣味や教養をみがくための活動	スポーツ・レクリエーション活動	ボランティア(社会奉仕)活動	地域の自治会活動	PTA活動	老人クラブ活動	子ども会活動	婦人会活動	商店会などの活動	その他	特にしていない	無回答	
全体	1276	33.2	22.8	8.5	11.4	0.1	8.0	0.4	0.9	0.5	1.9	①46.1	4.5	
居住地区	小金	109	32.1	26.6	4.6	9.2	0.0	7.3	0.0	0.0	1.8	①46.8	3.7	
	小金原	103	①45.6	27.2	13.6	16.5	0.0	15.5	1.0	1.9	1.0	32.0	2.9	
	新松戸	91	①45.1	25.3	9.9	14.3	0.0	5.5	0.0	0.0	2.2	37.4	3.3	
	馬橋	76	32.9	22.4	6.6	7.9	0.0	6.6	0.0	1.3	0.0	1.3	①46.1	11.8
	馬橋西	64	31.3	15.6	10.9	17.2	1.6	10.9	0.0	3.1	0.0	1.6	①48.4	4.7
	明第1	127	37.0	21.3	7.9	15.7	0.0	11.0	0.0	0.8	0.0	3.1	①45.7	3.1
	明第2西	69	29.0	21.7	13.0	10.1	0.0	13.0	0.0	1.4	1.4	4.3	①42.0	2.9
	明第2東	69	23.2	17.4	5.8	2.9	0.0	5.8	0.0	0.0	0.0	4.3	①60.9	5.8
	東部	77	33.8	28.6	6.5	6.5	0.0	11.7	2.6	0.0	1.3	0.0	①44.2	5.2
	本庁	59	①42.4	23.7	10.2	16.9	0.0	6.8	0.0	0.0	3.4	0.0	40.7	3.4
	矢切	59	32.2	28.8	5.1	18.6	0.0	8.5	0.0	0.0	0.0	1.7	①49.2	0.0
	五香六実	154	30.5	28.6	11.0	10.4	0.0	3.9	0.0	0.6	0.0	1.3	①47.4	3.9
	常盤平	180	25.6	15.6	6.7	8.9	0.0	3.9	1.1	0.6	1.1	1.7	①53.3	3.9

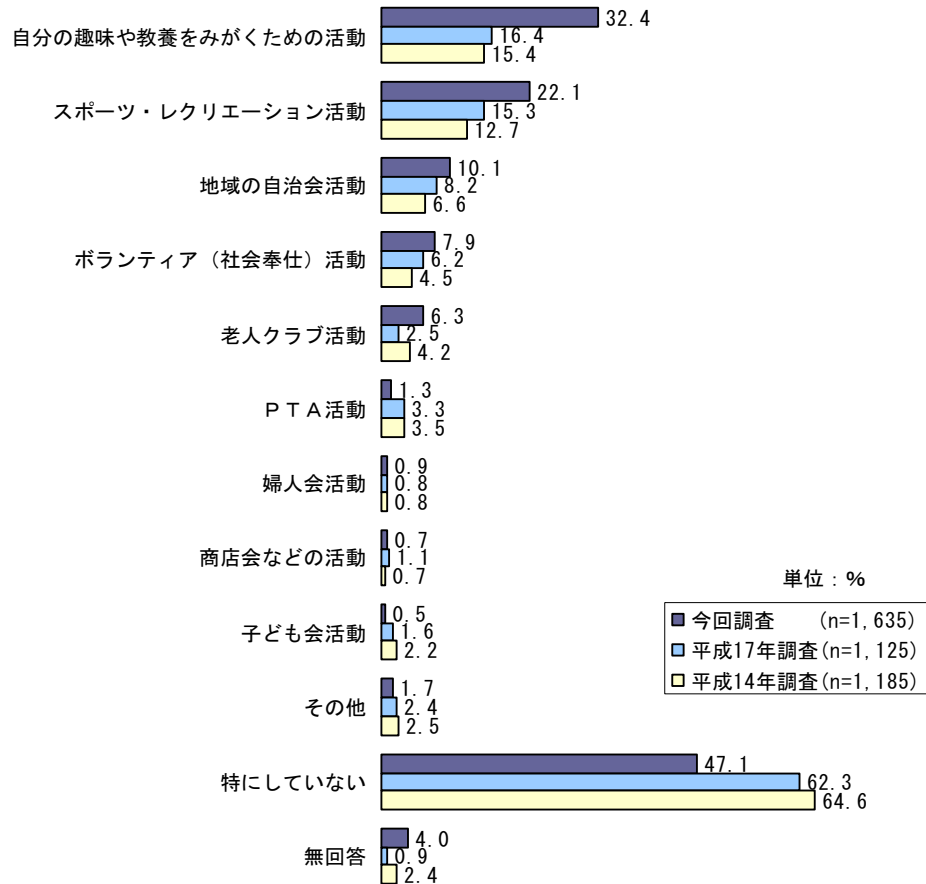
※丸数字は順位

## [ひとり暮らし・日中独居]

「特にしていない」は、ひとり暮らしが51.0%、日中ひとりであることの多い人が50.4%である。日中ひとりであることの多い人は、「ボランティア（社会奉仕）活動」が13.9%とやや多い。

### 【 経年比較 】

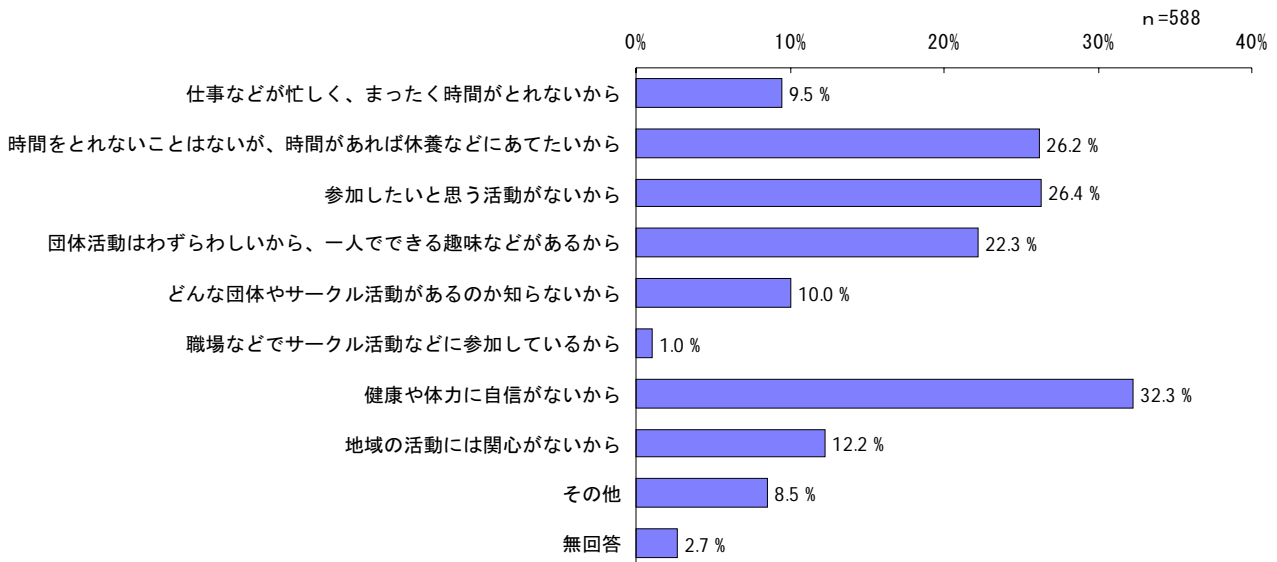
参加している活動は増えており、特に「自分の趣味や教養をみかくための活動」「スポーツ・レクリエーション活動」は著しい。活動が減っているのは「PTA活動」や「子ども会活動」である。「特にしていない」が半数以下と少なくなっている。



### (3) 特にしていない理由

問 11-1 特にしていないのはどのような理由からですか。（あてはまるものすべてに○）

問 11 で「特にしていない」と答えた人にその理由を聞いたものである。「健康や体力に自信がないから」32.3%、「参加したいと思う活動がないから」26.4%、「時間をとれないことはないが、時間があれば休養などにあてたいから」26.2%、「団体活動はわずらわしいから、一人のできる趣味などがあるから」22.3%、「地域の活動には関心がないから」12.2%などである。

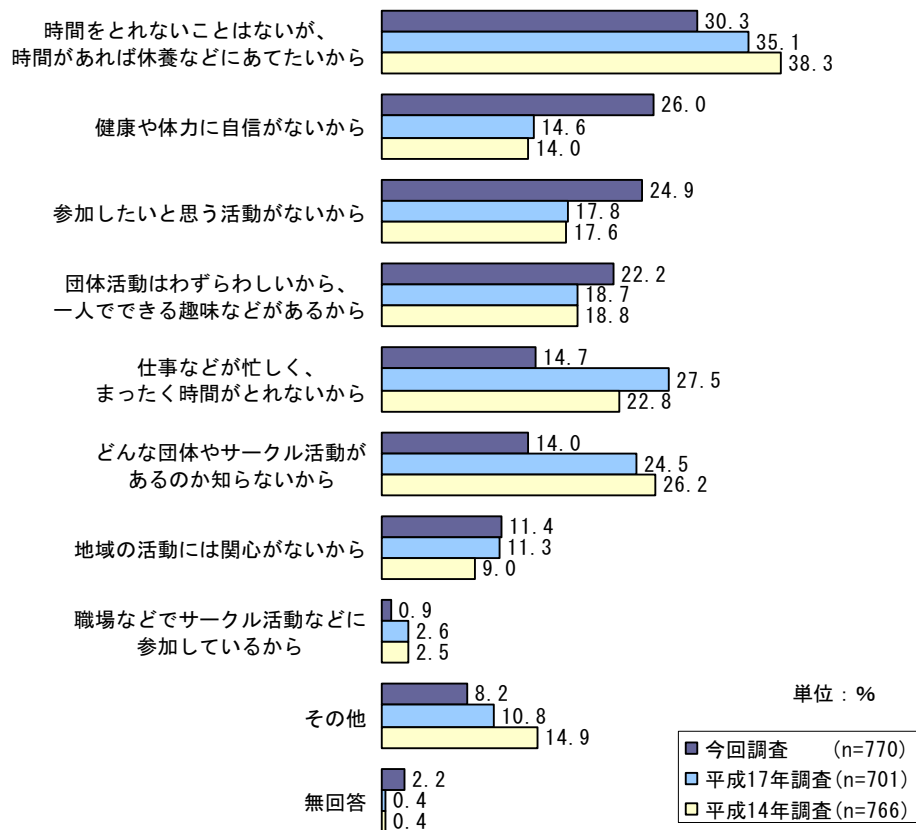


**[ひとり暮らし・日中独居]**

ひとり暮らしで全体を上回るのは、「団体活動はわずらわしいから、一人のできる趣味などがあるから」27.7%「どんな団体やサークル活動があるのか知らないから」17.8%である。日中ひとりであることの多い人は、「健康や体力に自信がないから」43.1%をあげることができる。

**【 経年比較 】**

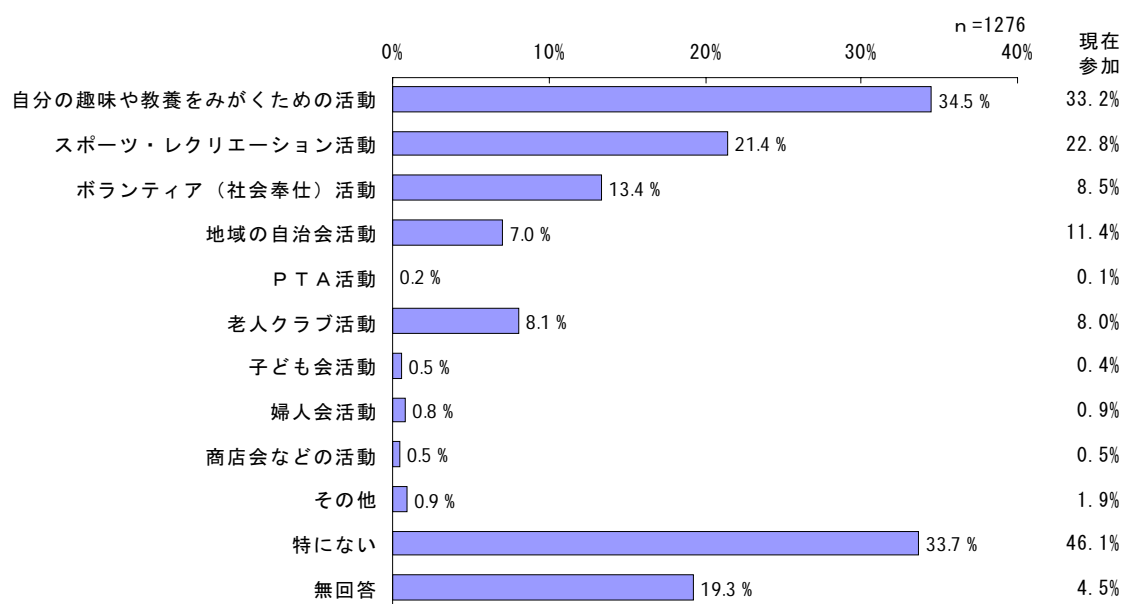
「時間」や「情報不足」をあげる人が少なくなっているのに対し、「健康や体力に自信がないから」「参加したいと思う活動がないから」などが多くあげられている



#### (4) 今後、参加したいこと

問 12 問 11 のこうした活動の中で、今後参加したいことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

今後、参加したいことについて「自分の趣味や教養をみがくための活動」34.5%、「特にない」33.7%が同程度である。以下、「スポーツ・レクリエーション活動」21.4%、「ボランティア（社会奉仕）活動」13.4%、「老人クラブ活動」8.1%、「地域の自治会活動」7.0%などである。



#### [ひとり暮らし・日中独居]

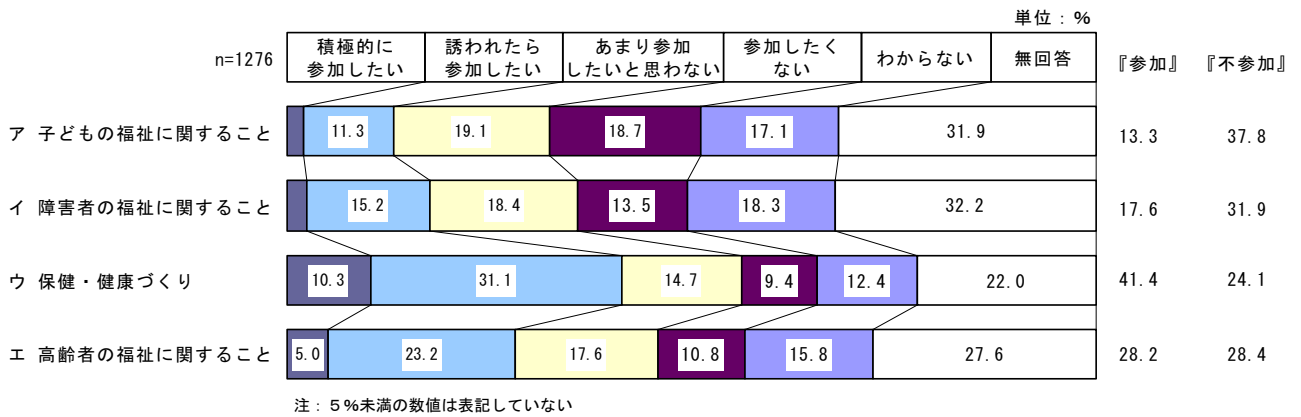
「自分の趣味や教養をみがくための活動」は、ひとり暮らし38.4%、日中ひとりであることの人33.9%である。また「ボランティア（社会奉仕）」活動に対しては、ひとり暮らし12.6%、日中ひとりであることの人15.7%である。

#### (5) ボランティア活動

問 13 あなたは、以下のようなボランティア活動に参加してみたいと思いますか。(それぞれあてはまる番号1つに○)

どのようなボランティア活動に参加したいかについて、「積極的に参加したい」が最も多いのは「保健・健康づくり」の10.3%、次いで「高齢者の福祉に関すること」5.0%、「障害者の福祉に関すること」2.4%、「子どもの福祉に関すること」2.0%である。「誘われたら参加したい」を合わせた『参加』についても、「保健・健康づくり」41.4%、「高齢者の福祉に関すること」28.2%、「障害者の福祉に関すること」17.6%、「子どもの福祉に関すること」13.3%と順位は同じである。

逆に、「あまり参加したいと思わない」と「参加したくない」を合わせた『不参加』は、『参加』とは反対の順に「子どもの福祉に関すること」37.8%、「障害者の福祉に関すること」31.9%、「高齢者の福祉に関すること」28.4%、「保健・健康づくり」24.1%である。



**[ひとり暮らし・日中独居]**

『参加』は、ひとり暮らし、日中ひとりであることの多い人いずれも「保健・健康づくり」各41.4%、40.0%「高齢者の福祉に関すること」各28.7%、25.2%など全体結果と差は少ない。

**[居住地区]**

各種ボランティア活動への『参加』意向の高い上位地区をみる。新松戸及び矢切地区は4つすべての活動で上位に入っており、新松戸地区では「保健・健康づくり」及び「高齢者の福祉」で、矢切地区では「子どもの福祉」でそれぞれ他地区を上回る。

これに次いで馬橋及び馬橋西地区では3つの活動が、小金及び小金原では2つの活動がそれぞれ上位となっている。

ボランティア活動への『参加』 単位：%

居住地区	回答者数(人)	子どもの福祉に関すること		障害者の福祉に関すること		保健・健康づくり		高齢者の福祉に関すること	
		②	18.4	⑤	19.2	④	42.2	⑤	31.2
小金	109	②	18.4	⑤	19.2	④	42.2	⑤	31.2
小金原	103		13.6	⑤	21.3	④	45.6		31.1
新松戸	91	④	16.5	②	24.0	①	48.4	①	38.5
馬橋	76		9.2	①	25.0	⑤	44.7	③	35.5
馬橋西	64	⑤	15.7	③	23.4	③	46.9		22.7
明第1	127	③	18.1		17.4		37.7		28.3
明第2西	69		13.0		14.4		39.1		23.1
明第2東	69		5.8		14.4		33.3		21.7
東部	77		10.4		13.0		37.7		20.8
本庁	59		10.2		17.0		39.0	④	32.2
矢切	59	①	20.4	④	22.0	②	47.5	②	37.3
五香六実	154		10.4		13.6		42.2		23.4
常盤平	180		11.2		13.3		40.6		23.3

※丸数字は順位

**【 経年比較 】**

「保健・健康づくり」を除いては『参加』が大幅に減っている。

ボランティア活動への『参加』 単位：%

	回答者数(人)	子どもの福祉に関すること		障害者の福祉に関すること		保健・健康づくり		高齢者の福祉に関すること	
		参加	不参加	参加	不参加	参加	不参加	参加	不参加
今回調査	1,635	17.5	37.6	19.9	33.8	42.4	24.8	29.8	29.8
平成17年調査	1,125	30.3	43.7	29.7	43.6	41.1	36.6	41.1	37.7

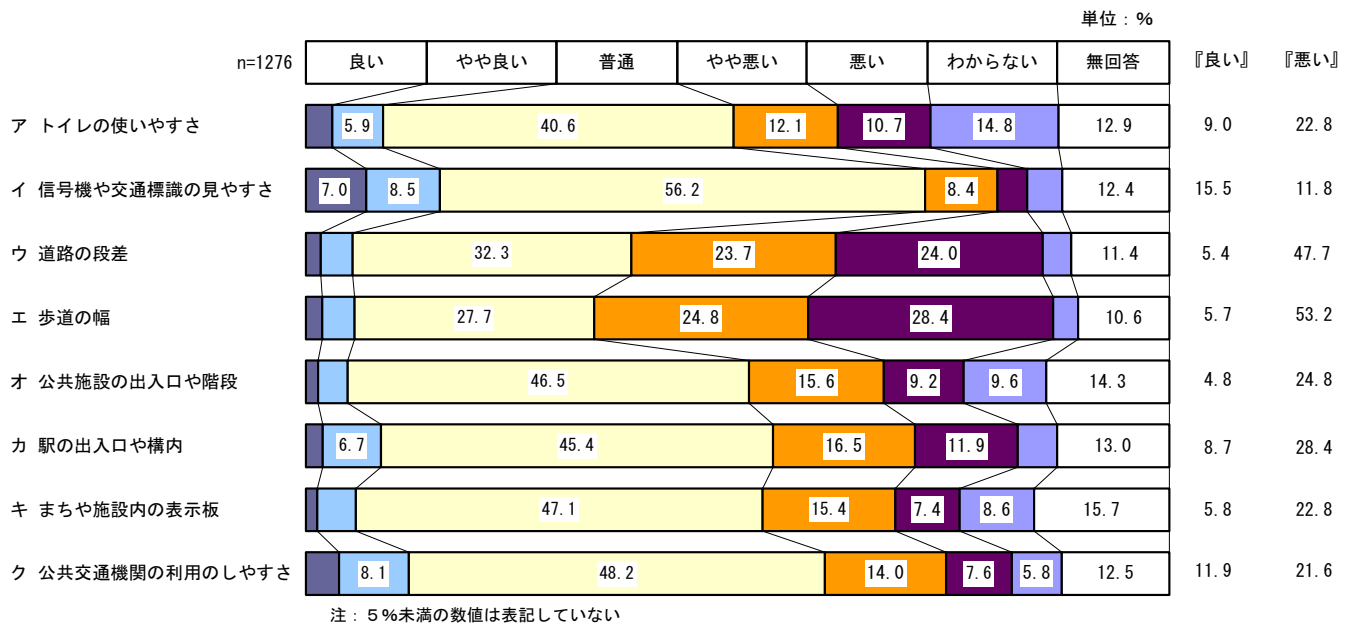


## (6) 安心して暮らせるまちづくり

問 14 誰もが地域で安心して暮らしていけるまちづくりという観点から見て、あなたは、市内の状況をどう評価されますか。(それぞれあてはまる番号1つに○)

市内の状況評価は、「良い」と「やや良い」を合わせた『良い』の順は、「信号機や交通標識の見やすさ」15.5%、「公共交通機関の利用のしやすさ」11.9%、「トイレの使いやすさ」9.0%、「駅の出入口や構内」8.7%、「まちや施設内の表示板」5.8%などであり、最下位は「公共施設の出入口や階段」4.8%である。

これに対し、「やや悪い」と「悪い」を合わせた『悪い』は、必ずしも『良い』とは反対の順ではなく、「歩道の幅」53.2%と「道路の段差」47.7%をあげる人が多い。



### 【 経年比較 】

平成17年調査よりも『良い』が増え『悪い』が減ったのは、「トイレの使いやすさ」「信号機や交通標識の見やすさ」「道路の段差」「駅の出入口や構内」「公共交通機関の利用のしやすさ」である。これに対し「公共施設の出入口や階段」及び「まちや施設内の表示板」は『良い』は減っているが、『悪い』も減っている。

市内の状況評価 単位：%

	回答者数 (人)	トイレの使いやすさ		信号機や交通標識 の見やすさ		道路の段差		歩道の幅	
		良い	悪い	良い	悪い	良い	悪い	良い	悪い
今回調査	1,635	8.3	26.6	14.1	14.7	5.1	51.5	5.4	57.4
平成17年調査	1,125	6.5	36.8	9.8	22.5	4.2	58.5	5.4	64.2

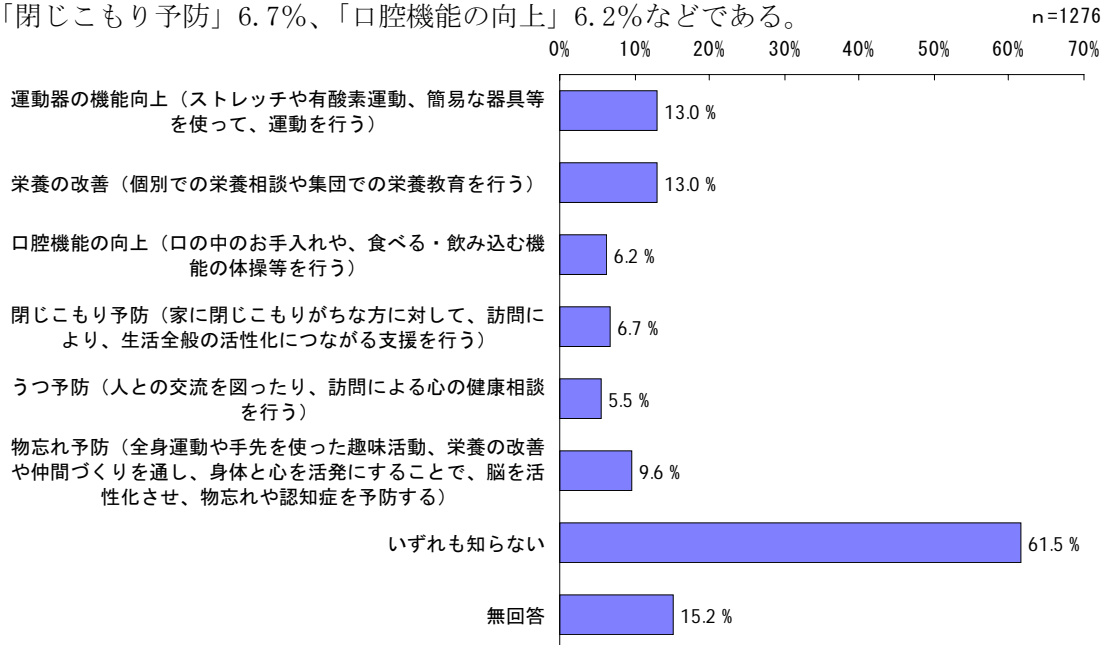
	回答者数 (人)	公共施設の 出入口や階段		駅の出入口や構内		まちや施設内の 表示板		公共交通機関の 利用のしやすさ	
		良い	悪い	良い	悪い	良い	悪い	良い	悪い
今回調査	1,635	5.4	26.2	8.7	31.4	6.0	24.6	12.6	23.4
平成17年調査	1,125	6.2	29.8	7.1	43.3	6.4	32.5	11.8	32.7

## 4. 介護予防について

### (1) 介護予防事業

問 15 松戸市では、健診受診後に、介護保険の要支援・要介護状態になるおそれがあると判定された方を対象に介護予防事業を実施していますが、あなたは、下記の事業を知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

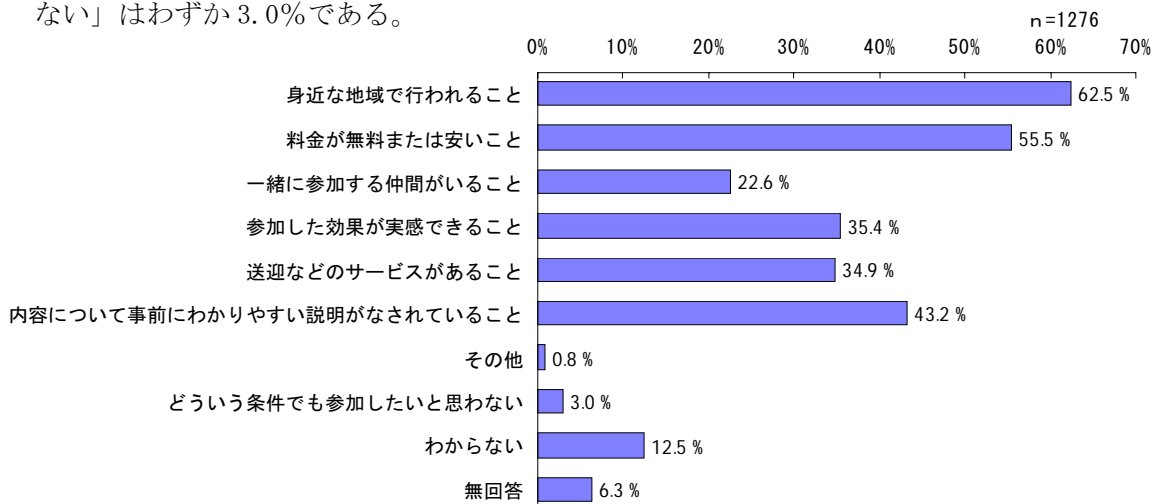
介護予防事業の知っている事業をあげてもらったが、「いずれも知らない」が61.5%、約6割である。「運動器の機能向上」及び「栄養の改善」ともに13.0%が最も多く、「物忘れ予防」9.6%、「閉じこもり予防」6.7%、「口腔機能の向上」6.2%などである。



### (2) 事業参加に必要な条件

問 16 もし、あなたが介護予防事業に参加するとしたら、必要な条件は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

介護予防事業参加に必要な条件では、「身近な地域で行われること」62.5%、「料金が無料または安いこと」55.5%が多い。次いで「内容について事前にわかりやすい説明がなされていること」43.2%、「参加した効果が実感できること」35.4%である。「どういう条件でも参加したいと思わない」はわずか3.0%である。

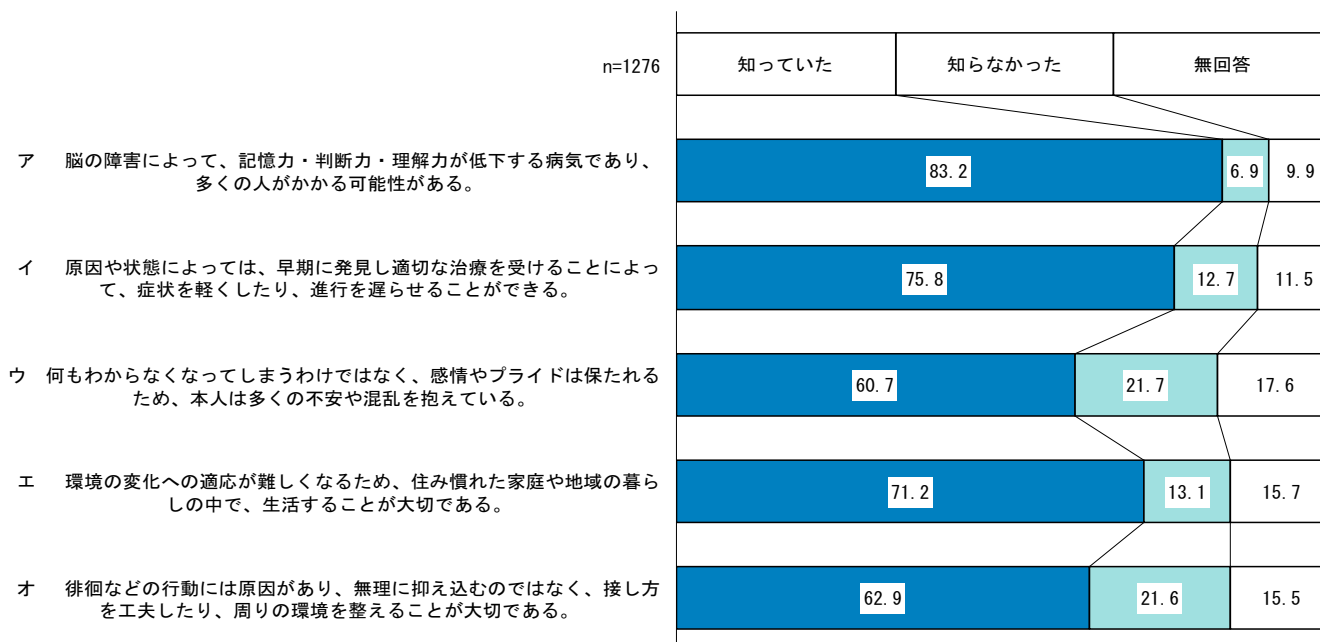


### (3) 認知症について

問 17 認知症は、多くの人がかかる可能性のある病気で、認知症の方やご家族を支える地域づくりが重要な課題となっていますが、あなたは、認知症に関する以下の内容を知っていますか。(それぞれあてはまる番号1つに○)

認知症については、いずれの内容も「知っている」が6割を超え、最も多いのが「脳の障害によって記憶力・判断力・理解力が低下する病気であり、多くの人がかかる可能性がある。」83.2%である。

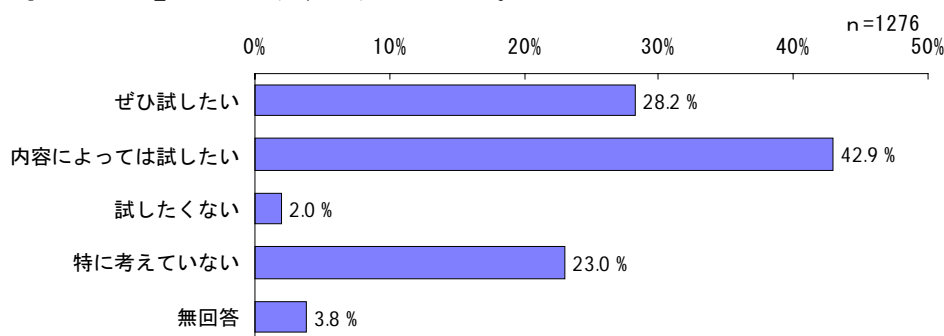
単位：%



### (4) 認知症予防について

問 18 認知症の予防には、運動や食事など、生活習慣の改善をはじめとした予防法が考えられていますが、その予防法に効果があるとしたら、あなたは試してみたいと思いますか。(1つに○)

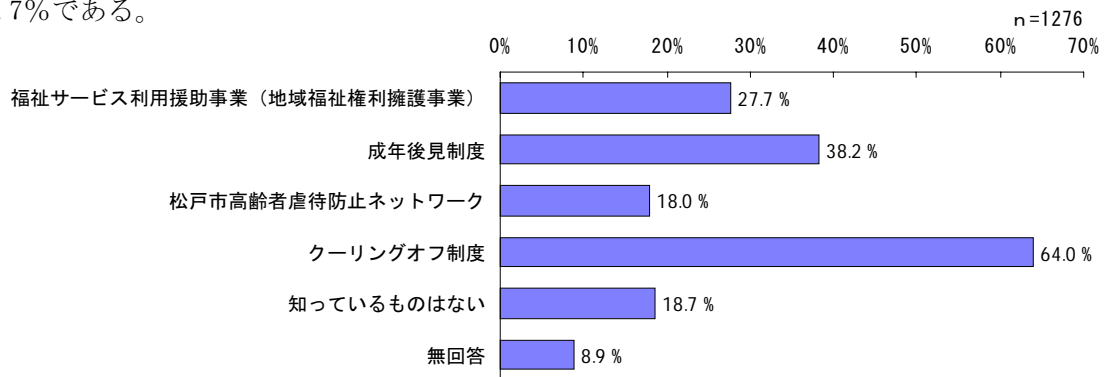
認知症予防の効果があれば、「ぜひ試したい」は28.2%、「内容によっては試したい」42.9%、合わせた『試したい』は71.1%、7割を超える。



(5) 権利擁護の制度やしきみ

問19 高齢者が安心して暮らせるための権利擁護の制度やしきみを知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

権利擁護の制度やしきみの知っていることは、「クーリングオフ制度」64.0%が最も多い。以下はやや差があり、「成年後見制度」38.2%、「福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業）」27.7%、「松戸市高齢者虐待防止ネットワーク」18.0%の順である。「知っているものはない」は18.7%である。

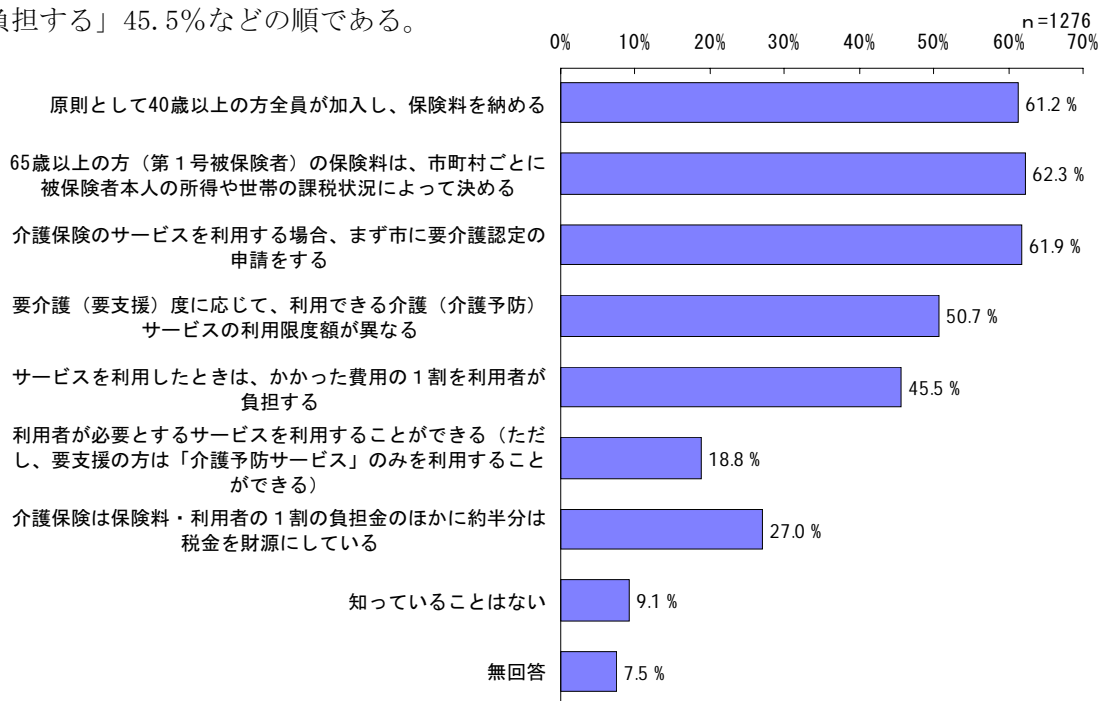


5. 介護保険について

(1) 介護保険制度について

問20 介護保険制度についてどの程度知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

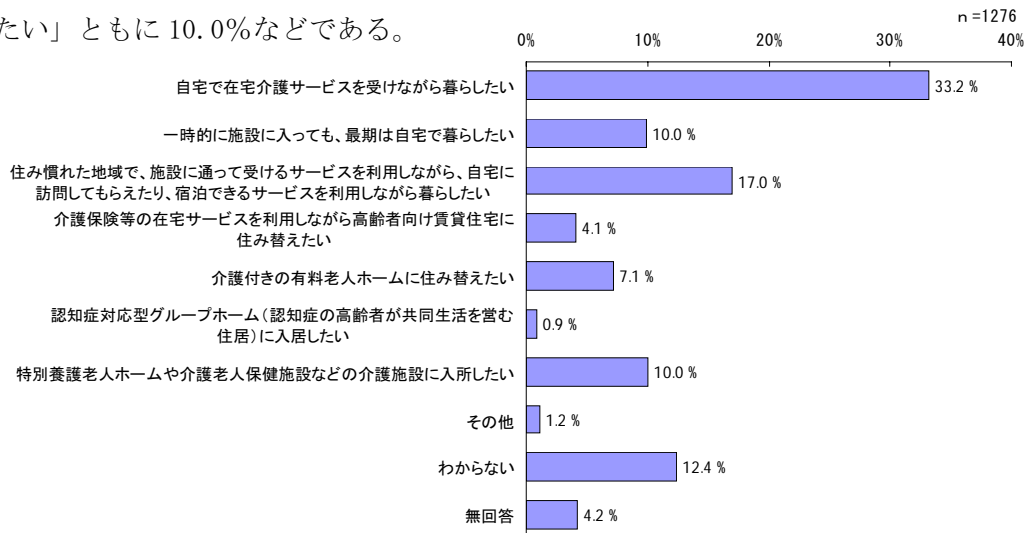
「65歳以上の方（第1号被保険者）の保険料は、市町村ごとに被保険者本人の所得や世帯の課税状況によって決める」62.3%、「介護保険のサービスを利用する場合、まず市に要介護認定の申請をする」61.9%、「原則として40歳以上の方全員が加入し、保険料を納める」61.2%、これらはほとんど差がない。以下「要介護（要支援）度に応じて、利用できる介護（介護予防）サービスの利用限度額が異なる」50.7%、「サービスを利用したときは、かかった費用の1割を利用者が負担する」45.5%などの順である。



## (2) 介護必要時の生活場所

問 21 あなたは、かりに、身の回りのことを自分でできなくなったとき、どこで生活したいと思いますか。(1つに○)

「自宅で在宅介護サービスを受けながら暮らしたい」33.2%が最も多い。次いで「住み慣れた地域で、施設に通って受けるサービスを利用しながら、自宅に訪問してもらえたり、宿泊できるサービスを利用しながら暮らしたい」17.0%、「わからない」12.4%、「一時的に施設に入っても、最期は自宅で暮らしたい」及び「特別養護老人ホームや介護老人保健施設などの介護施設に入所したい」ともに10.0%などである。



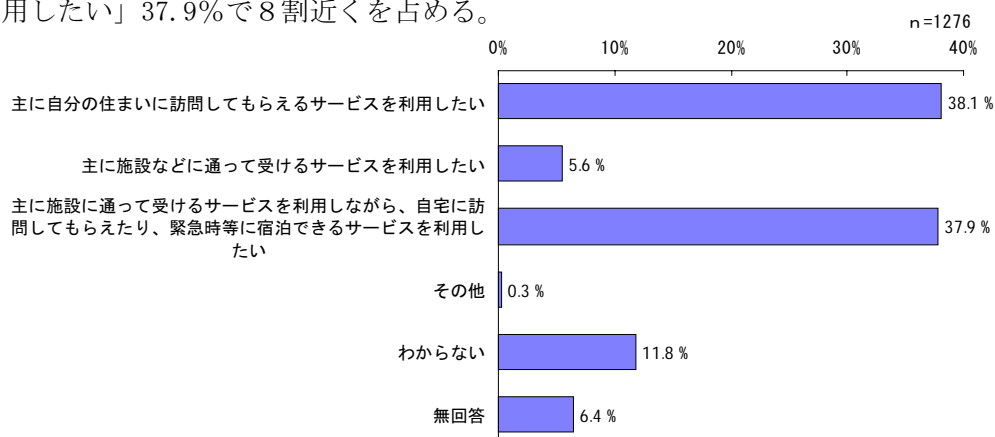
### 【 経年比較 】

前回調査までは、「施設」が「自宅」を上回っていたが、今回調査では、「自宅」を中心とした生活が大半である。

## (3) 利用したい介護サービス

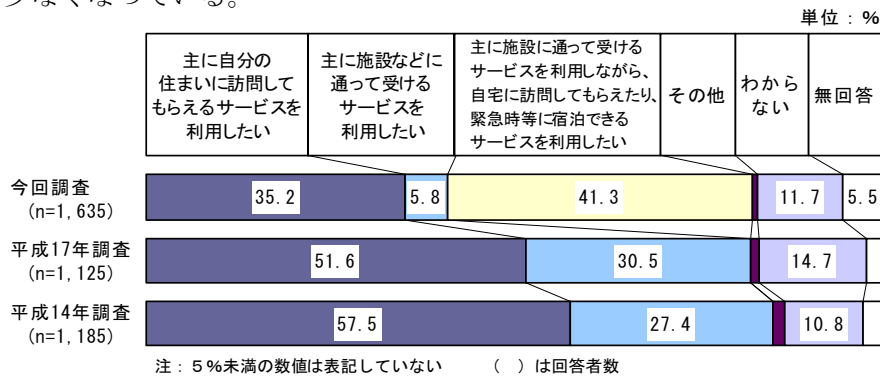
問 22 かりに自分の住まいで介護サービスを受ける場合、主にどのような種類のサービスを利用したいですか。(1つに○)

「主に自分の住まいに訪問してもらえるサービスを利用したい」38.1%と、「主に施設に通って受けるサービスを利用しながら、自宅に訪問してもらえたり、緊急時等に宿泊できるサービスを利用したい」37.9%で8割近くを占める。



【 経年比較（参考） 】

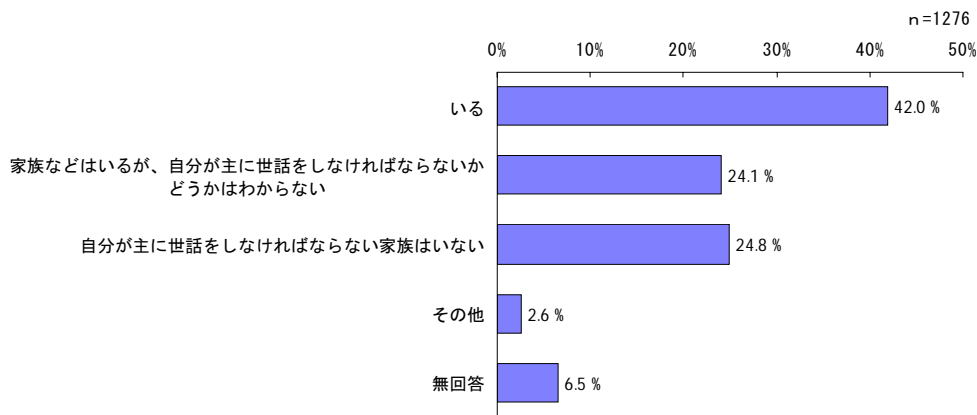
今回調査で新たな選択肢として入れた「主に施設に通って受けるサービスを利用しながら、自宅に訪問してもらえたり、緊急時等に宿泊できるサービスを利用したい」が最も多いことから、前回調査の各回答はいずれも少なくなっている。



(4) 世話をすべき家族

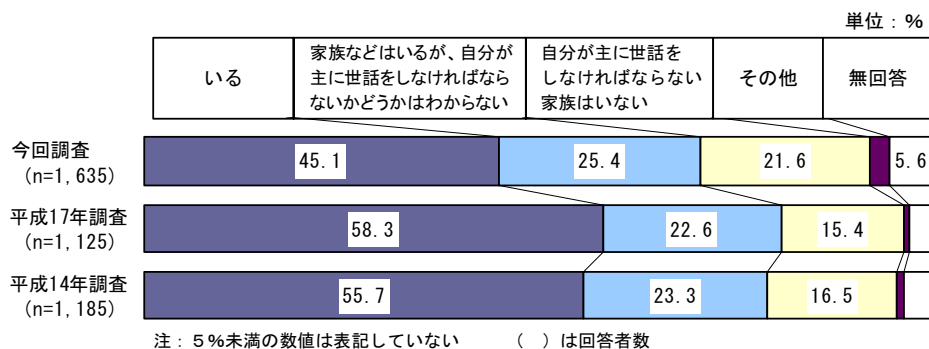
問23 現在または将来、主にあなたが老後の世話をしなければならないと思っている家族などはいますか。(1つに○)

「いる」が42.0%である。「自分が主に世話をしなければならない家族はいない」24.8%、「家族などはいるが、自分が主に世話をしなければならないかどうかはわからない」24.1%である。



【 経年比較 】

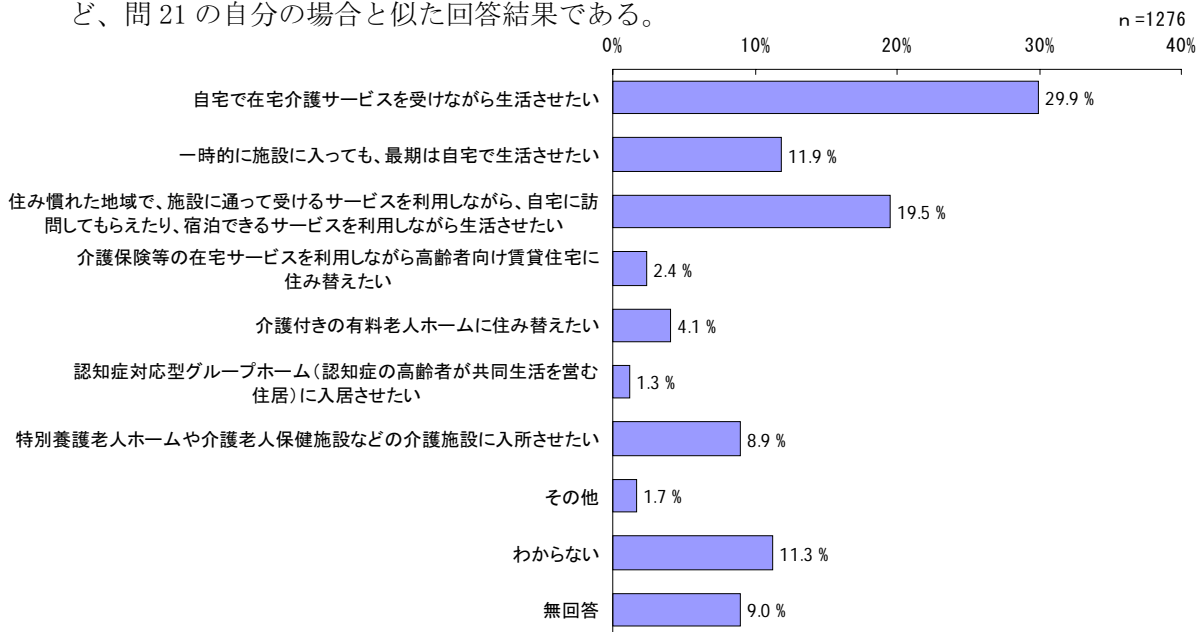
「いる」との回答は、大きく減少している。



## (5) 家族介護時の生活場所

問 24 あなたは、かりに、家族が高齢などのために身の回りのことを自分で十分にできなくなったとき、どこで生活をさせたいですか。(1つに○)

「自宅で在宅介護サービスを受けながら生活させたい」29.9%、「住み慣れた地域で、施設に通って受けるサービスを利用しながら、自宅に訪問してもらえたり、宿泊できるサービスを利用しながら生活させたい」19.5%、「一時的に施設に入っても、最期は自宅で生活させたい」11.9%など、問 21 の自分の場合と似た回答結果である。



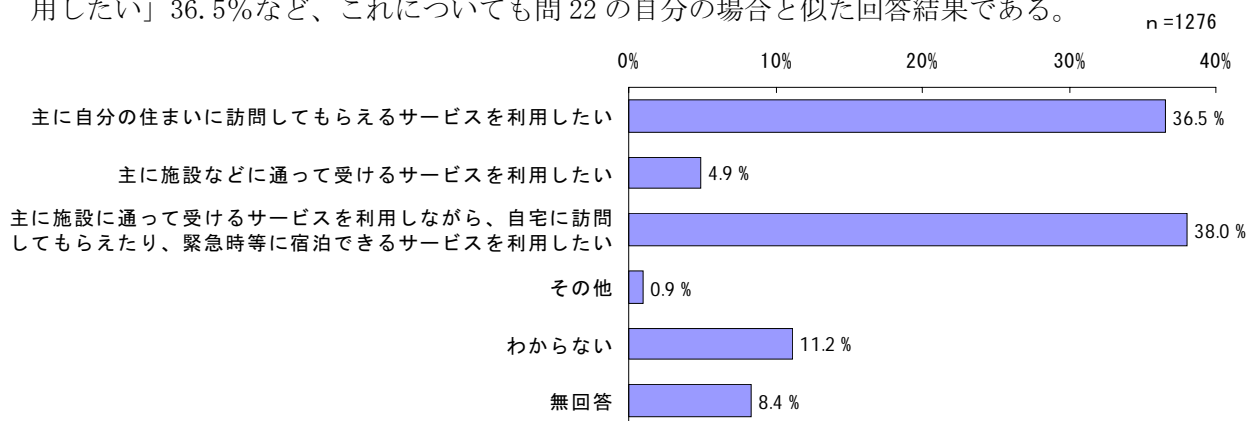
### 【 経年比較 】

前回調査までは、「自宅」が「施設」をやや上回る程度であったが、今回調査では、「自宅」が中心である。

## (6) 家族のために利用したい介護サービス

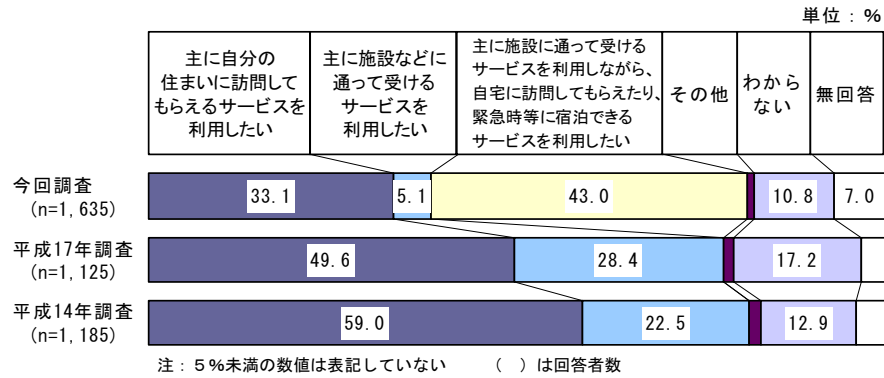
問 25 かりに、自分の住まいで家族のために介護サービスを利用する場合、主にどのような種類のサービスを利用したいですか。(1つに○)

「主に施設に通って受けるサービスを利用しながら、自宅に訪問してもらえたり、緊急時等に宿泊できるサービスを利用したい」38.0%、「主に自分の住まいに訪問してもらえるサービスを利用したい」36.5%など、これについても問 22 の自分の場合と似た回答結果である。



【 経年比較 参考】

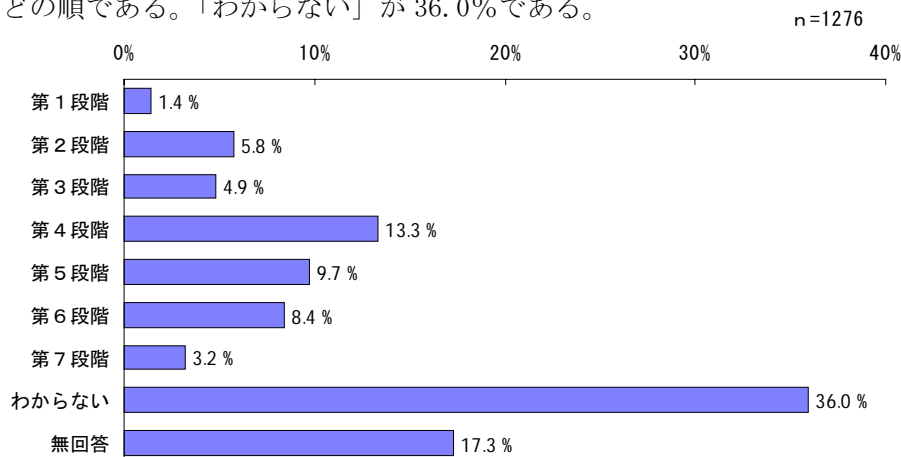
問 22 の自分と同じく、今回調査の新たな選択肢である「主に施設に通って受けるサービスを利用しながら、自宅に訪問してもらえたり、緊急時等に宿泊できるサービスを利用したい」が最も多いことから、前回調査までの各回答は、いずれも少なくなっている。



(7) 平成 19 年度の介護保険料

問 26 あなたの平成 19 年度の介護保険料の段階は次のうちどれですか (1つに○)

「第4段階」13.3%、「第5段階」9.7%、「第6段階」8.4%、「第2段階」5.8%、「第3段階」4.9%などの順である。「わからない」が36.0%である。

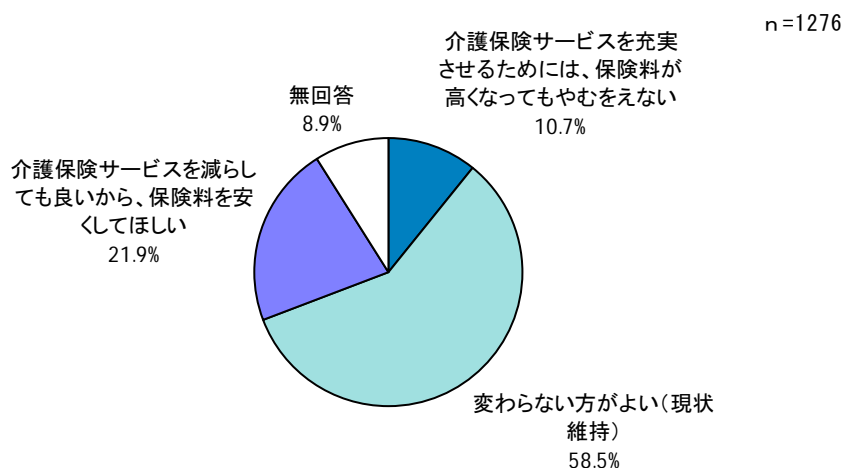




## (8) 介護保険料の今後

問 27 あなたが納めている介護保険料について、次の3つの方針から、あえて1つ選ぶとしたら、どれを選びますか。(1つに○)

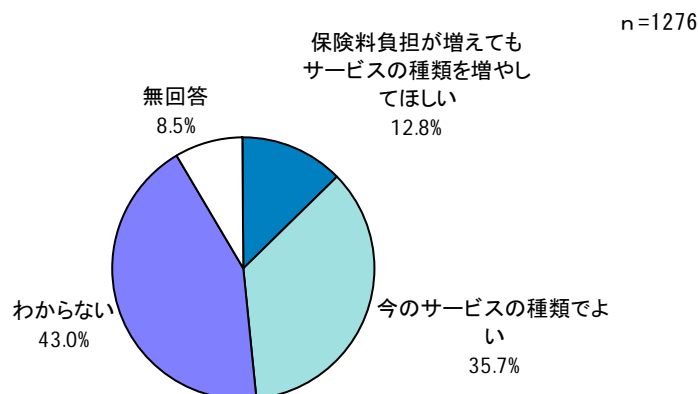
「変わらない方がよい(現状維持)」が58.5%、約6割である。「介護保険サービスを減らしても良いから、保険料を安くしてほしい」21.9%、「介護保険サービスを充実させるためには、保険料が高くなってもやむをえない」10.7%である。



## (9) サービスの種類と保険料負担

問 28 介護保険制度では、保険給付の対象となるサービスの種類が定められていますが、各市町村ごとに新たなサービスの種類を増やすことができます。この場合、皆さんの保険料負担が増えることになりましたが、このことについてどう思いますか。(1つに○)

「わからない」43.0%、「今のサービスの種類でよい」35.7%、「保険料負担が増えてもサービスの種類を増やしてほしい」12.8%である。

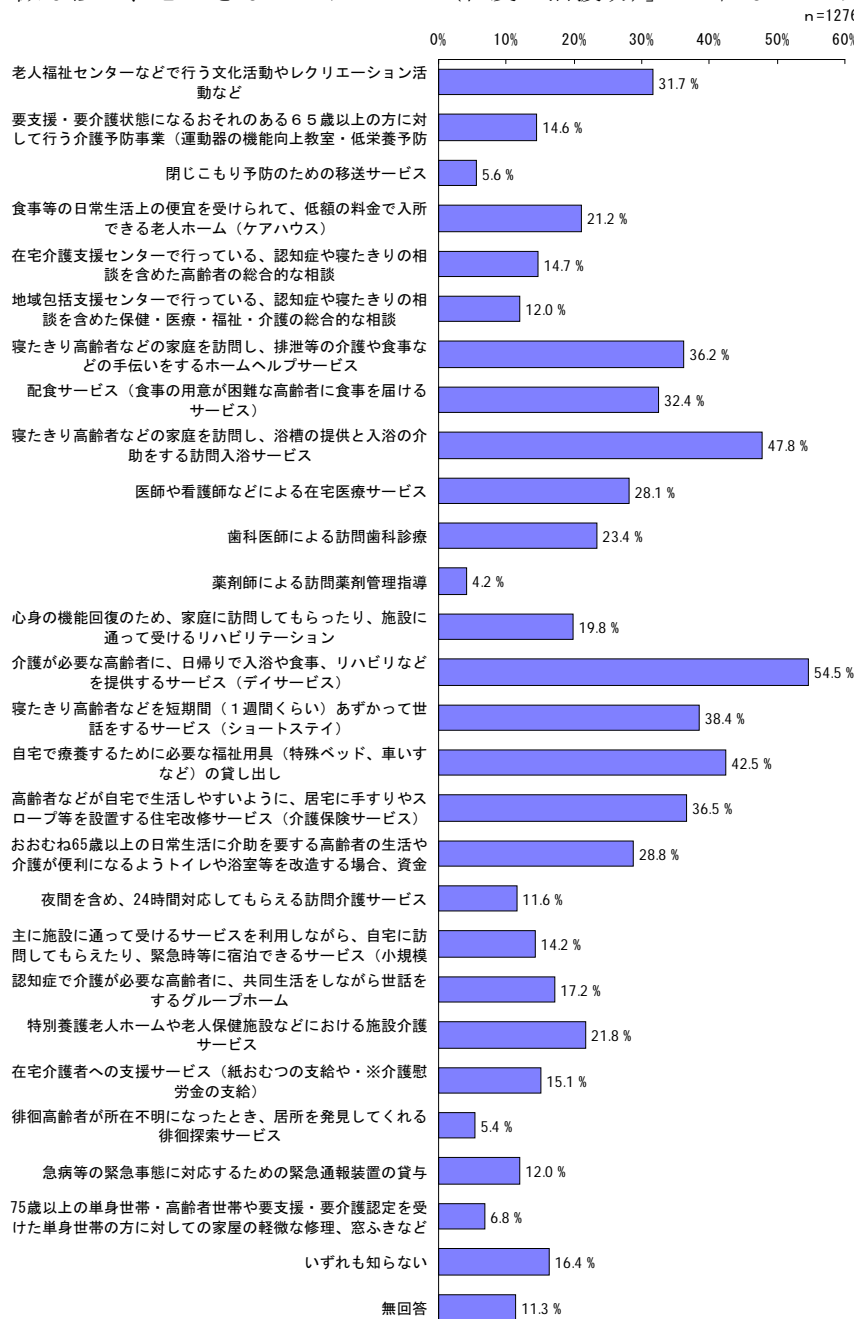


(10) 保健・医療・福祉サービス

問 29 あなたは次のような保健・医療・福祉サービスを知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

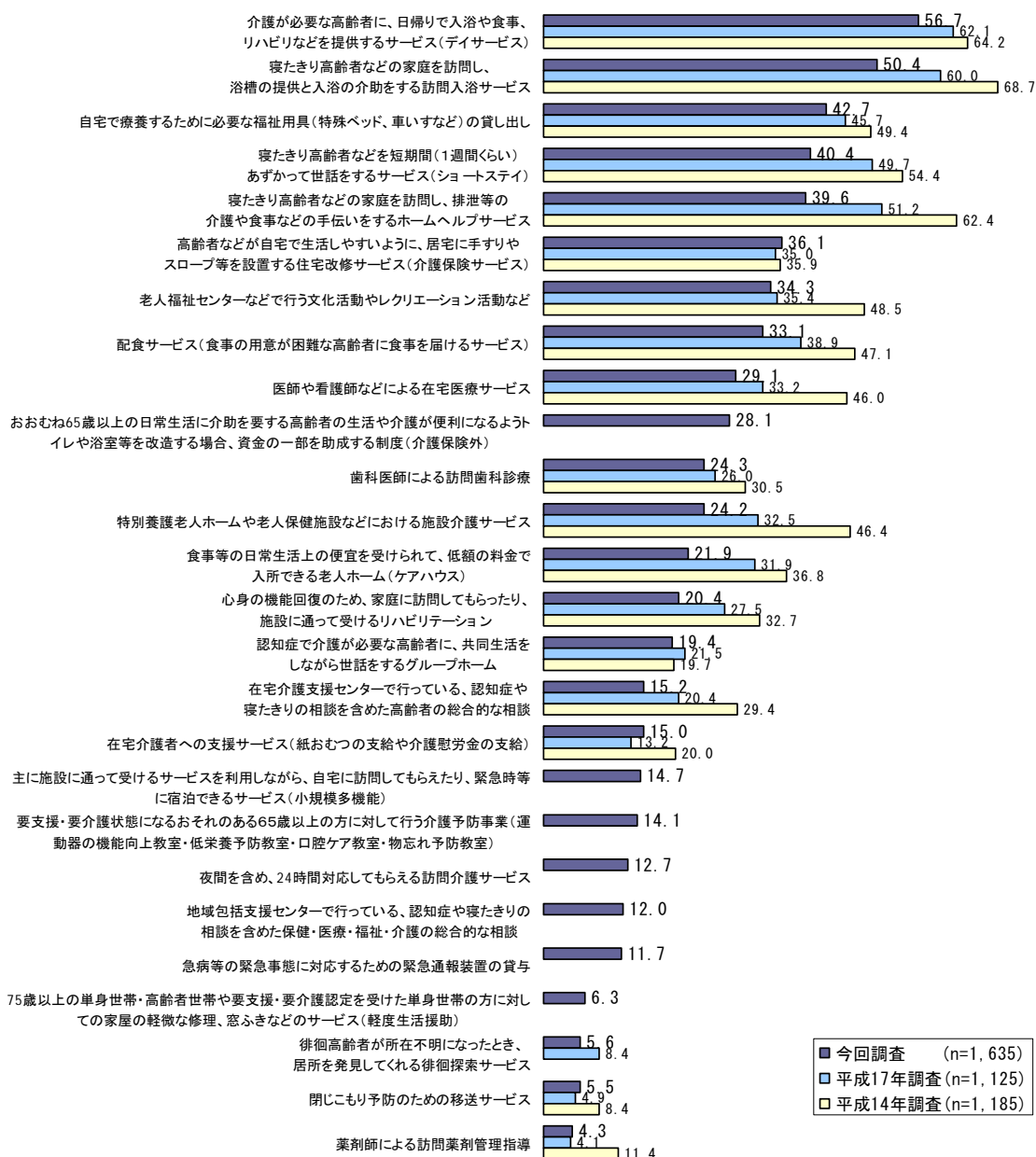
最も多いのが、「介護が必要な高齢者に、日帰りで入浴や食事、リハビリなどを提供するサービス(デイサービス)」54.5%、次いで「寝たきり高齢者などの家庭を訪問し、浴槽の提供と入浴の介助をする訪問入浴サービス」47.8%、「自宅で療養するために必要な福祉用具(特殊ベッド、車いすなど)の貸し出し」42.5%、「寝たきり高齢者などを短期間(1週間くらい)あずかって世話をするサービス(ショートステイ)」38.4%などである。

逆に、少ないのは「薬剤師による訪問薬剤管理指導」4.2%、「徘徊高齢者が所在不明になったとき、居所を発見してくれる徘徊探索サービス」5.4%、「閉じこもり予防のための移送サービス」5.6%、「75歳以上の単身世帯・高齢者世帯や要支援・要介護認定を受けた単身世帯の方に対しての家屋の軽微な修理、窓ふきなどのサービス(軽度生活援助)」6.8%などである。



【 経年比較 参考】

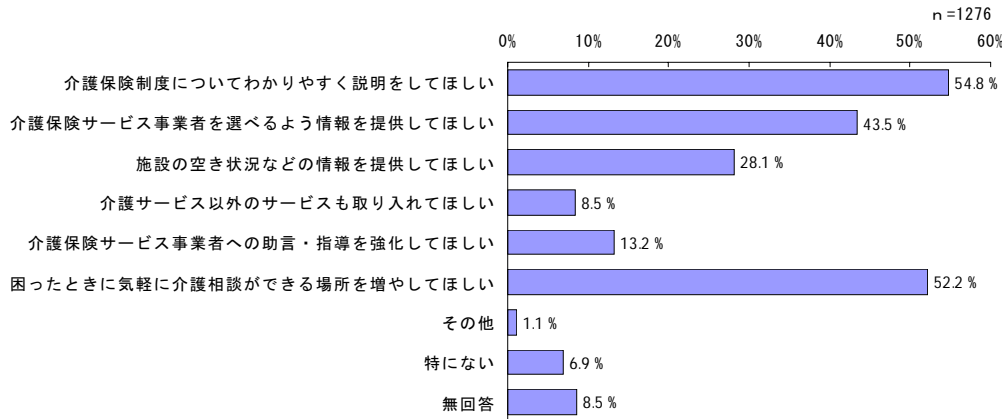
今回調査では、これまでの調査よりも選択肢が多いため、いずれの回答も少なくなっている。「介護が必要な高齢者に、日帰りで入浴や食事、リハビリなどを提供するサービス（デイサービス）」「寝たきり高齢者などの家庭を訪問し、浴槽の提供と入浴の介助をする訪問入浴サービス」の上位は変わらないが「自宅で療養するために必要な福祉用具（特殊ベッド、車いすなど）の貸し出し」や「寝たきり高齢者などの家庭を訪問し、排泄等の介護や食事などの手伝いをするホームヘルプサービス」などはやや順位を下げている。



(11) 市に期待すること

問 30 今後の介護保険サービスについて、市に期待することは何ですか。(3つまでに○)

「介護保険制度についてわかりやすく説明してほしい」54.8%、「困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やしてほしい」52.2%、「介護保険サービス事業者を選べるよう情報を提供してほしい」43.5%、「施設の空き状況などの情報を提供してほしい」28.1%などである。

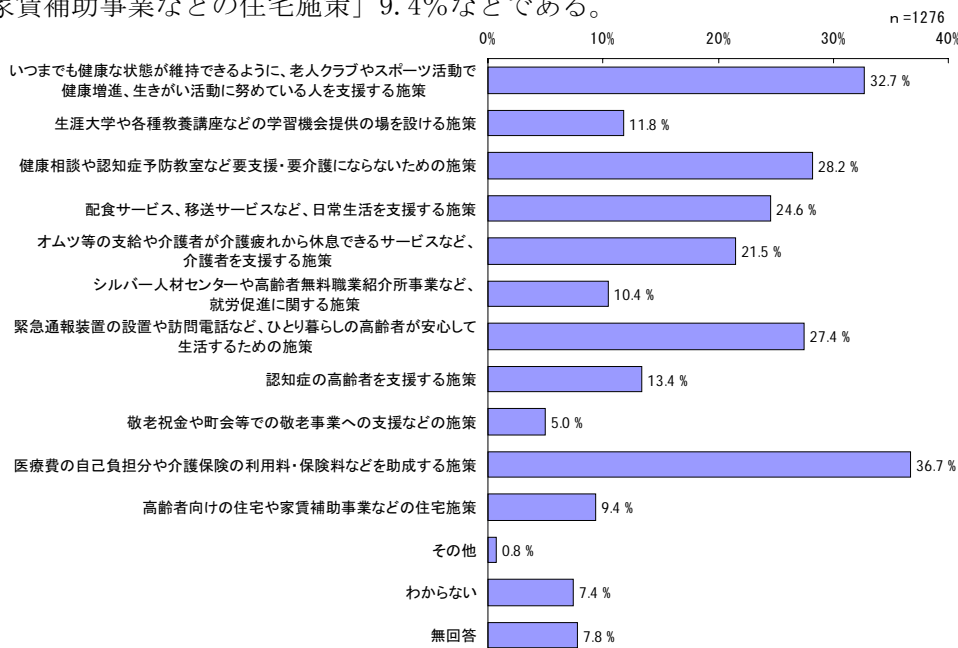


(12) 充実すべき高齢者施策

問 31 あなたは、今後介護保険以外の施策で、どのような高齢者施策を充実すべきだと思いますか。(3つまでに○)

「医療費の自己負担分や介護保険の利用料・保険料などを助成する施策」36.7%、「いつまでも健康な状態が維持できるように、老人クラブやスポーツ活動で健康増進、生きがい活動に努めている人を支援する施策」32.7%、「健康相談や認知症予防教室など要支援・要介護にならないための施策」28.2%、「緊急通報装置の設置や訪問電話など、ひとり暮らしの高齢者が安心して生活するための施策」27.4%、「配食サービス、移送サービスなど、日常生活を支援する施策」24.6%などである。

逆に少ないのは、「敬老祝金や町会等での敬老事業への支援などの施策」5.0%、「高齢者向けの住宅や家賃補助事業などの住宅施策」9.4%などである。



## 【ひとり暮らし・日中独居】

ひとり暮らしでは「緊急速報装置の設置や訪問電話など、ひとり暮らしの高齢者が安心して生活するための施策」42.9%が最も多い。日中ひとりであることの多い人は、全体結果とほぼ同じである。

### 【 経年比較 】

「健康相談や認知症予防教室など要支援・要介護にならないための施策」及び「配食サービス、移送サービスなど、日常生活を支援する施策」「認知症の高齢者を支援する施策」「敬老祝金や町会等での敬老事業への支援などの施策」を除いては、軒並み減っている。

